

リモートアクセス設定かんたんマニュアル

2026年3月2日版

1.リモートアクセス接続の種類について ……P1

2.リモートデスクトップされる端末の設定 ……P2

※リモートデスクトップ接続での利用の方のみ（社内LAN接続での利用の場合は不要です）

（1）Windows10編 ……P2

PC環境設定（リモートデスクトップ許可・電源設定）

端末のIPアドレス固定設定

【参考】ログイン時のユーザー名確認方法

（2）Windows11編 ……P6

PC環境設定（リモートデスクトップ許可・電源設定）

端末のIPアドレス固定設定

【参考】ログイン時のユーザー名確認方法

リモートアクセス設定かんたんマニュアル

2025年3月2日版

3.外出先に持ち出す端末への設定	・・・P11
(1) Windows10端末編	・・・P12
事前設定 (VPN設定)	
接続手順 (社内LAN接続/リモートデスクトップ接続)	
【参考】Windows8.1端末の事前設定・VPN接続手順	
【参考】VPN接続できないときの主な対処法	
【参考】リモートデスクトップアプリの接続ができないときの主な対処法	
(2) Windows11端末編	・・・P20
事前設定 (VPN設定)	
接続手順 (社内LAN接続/リモートデスクトップ接続)	
(3) MacOS端末編	・・・P25
事前設定 (VPN設定・リモートデスクトップ設定)	
接続手順 (社内LAN接続/リモートデスクトップ接続)	
【参考】VPN接続できないときの主な対処法	
(4) iOS/Android/ChromeOS端末編	・・・P33
VPN設定・接続手順 (各OS端末別)	
iOS端末編/Android端末編/ChromeOS端末編	
リモートデスクトップアプリの設定手順 (全OS共通)	

1. リモートアクセス接続の種類について

リモートアクセス接続の方法は以下の2種類があります。
接続方法により特徴、設定項目が異なりますので、あらかじめご確認ください。

1 リモートデスクトップ接続

外出先からオフィスの自席PCにアクセスし、遠隔操作する接続方法です。
(接続先のPC画面が、持ち出し端末に画面転送されます)
接続先のPC経由で業務システムの確認や社内資料の確認が可能です。

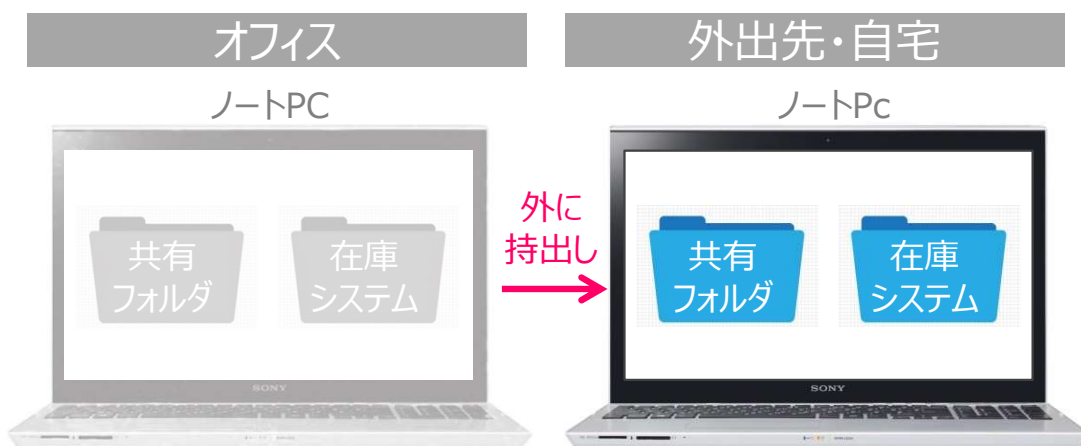


※リモートデスクトップされる端末（自席PC）の対応OSは以下の通りです
Windows 8.1 (Pro / Enterprise) Windows 10 (Pro / Enterprise)
Windows 11 (Pro / Enterprise)

※リモートアクセスする端末（外出先に持ち出す端末）の対応OSは以下の通りです。
Windows : 7 / 8 / 10 / 11 Mac : 10.12 Sierra ~ 15 Sequoia
iOS : 6 ~ 18 および iPad OS : 14 Android : 7 ~ 16

2 社内LAN接続

外出先からオフィスの共有サーバや端末に直接アクセスする接続方法です。
データファイル等も端末ローカルにダウンロードして作業できます。
会社で利用してるPCをそのまま外出先に持ち出して業務をされる方におすすめです。



※リモートアクセスする端末（外出先に持ち出す端末）の対応OSは以下の通りです。
Windows : 8.1 / 10 / 11 Mac : 10.13 High Sierra ~ 15 Sequoia
iOS および Androidは非推奨


2.リモートデスクトップされる端末の設定 Windows10編

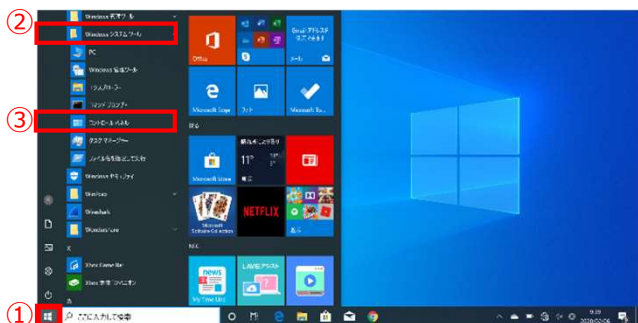
(1) PC環境設定 ※リモートデスクトップ接続を利用する場合のみ実施

以下の設定は管理者アカウントでログイン、または管理者アカウントをお持ちの方へ依頼し設定を実施してください、

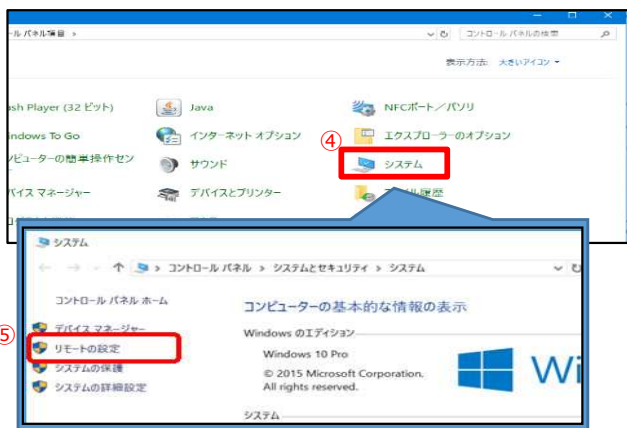
1 リモートデスクトップの許可設定

設定を行う管理者アカウント自身ではなく、標準ユーザアカウントに対して許可設定を行いたい場合は次頁の手順を参照してください。

- ① タスクバーの“”をクリックします
- ② メニューバーの“Windowsシステムツール”を選択
- ③ “コントロールパネル”をクリックします



- ④ コントロールパネルが表示されたら、“システム”をクリックします
- ⑤ システム画面左メニューの“リモートの設定”をクリックします

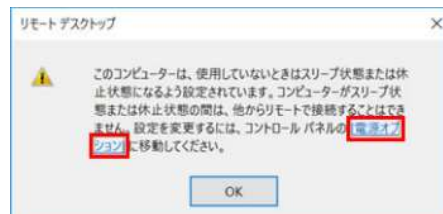


- ⑥ 『システムのプロパティ』画面が開きます。
“このコンピューターへのリモート接続を許可する”を選択します
- ⑦ “OK”をクリックします



2 電源オプションの変更

前項目で最後にOKを押したときにこの通知が出た場合は文中の“電源オプション”をクリックしてください。
※下記通知が表示されなかった場合は、設定不要です。



- ① 『電源オプション』画面が開きます。
“プラン設定の変更”をクリックします。



※電源プランが複数ある場合は、チェックマークがついている方の“プラン設定”をクリックしてください

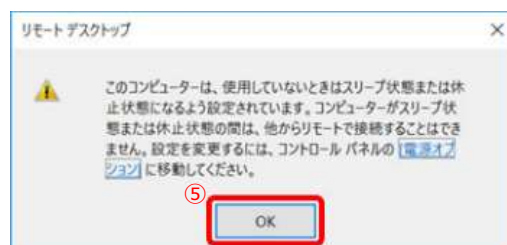
- ② 「コンピューターをスリープ状態にする」欄のプルダウンを2つとも“適応しない”を選択します
- ③ “変更の保存”をクリックします



- ④ 右上の“×”をクリックして画面を閉じてください



- ⑤ メッセージ画面に戻りますので、“OK”をクリックしてください。



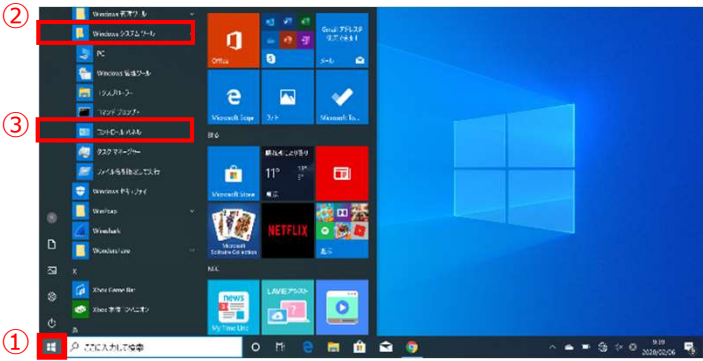
以上で端末設定は完了です

2.リモートデスクトップされる端末の設定 Windows10編

【参考】標準ユーザアカウントへのリモートデスクトップ許可方法

リモートデスクトップ許可設定を行いたいアカウントが「標準ユーザ」の場合は、
管理者アカウントでログインし、本頁の手順でリモートデスクトップ許可設定を行います。
リモートデスクトップ許可設定を行いたいアカウントが「管理者」の場合は、前頁1の手順で実施してください。

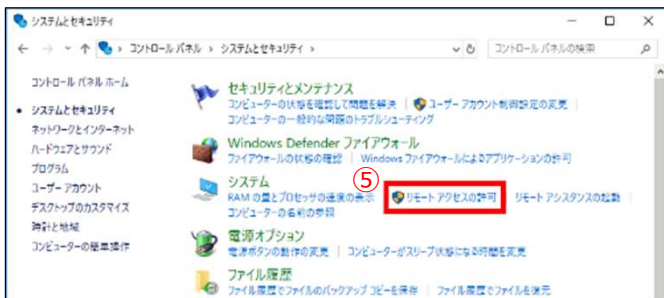
- ① タスクバーの「スタート」をクリックします。
- ② メニューバーの「Windowsシステムツール」を選択します。
- ③ 「コントロールパネル」をクリックします。



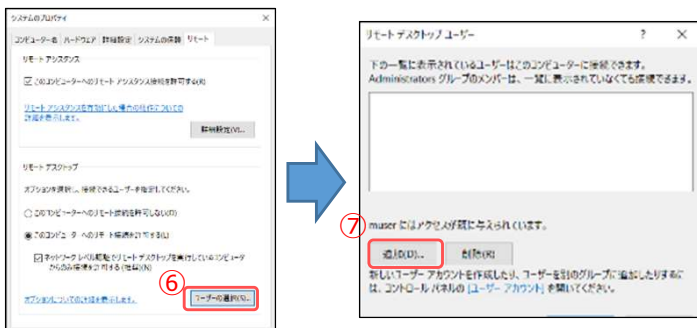
- ④ コントロールパネルが表示されたら、「システムとセキュリティ」をクリックします。



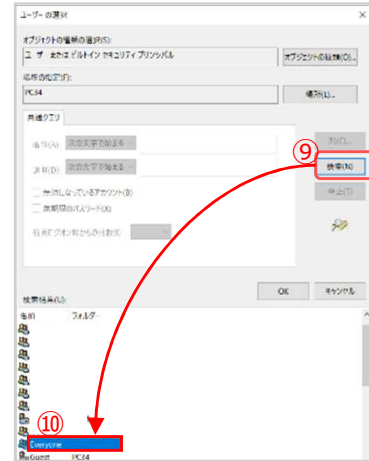
- ⑤ 「リモートアクセスの許可」をクリックします。



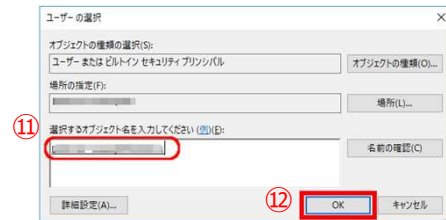
- ⑥ 「ユーザーの選択(S)...」をクリックします。
- ⑦ 「追加(D)...」をクリックします。



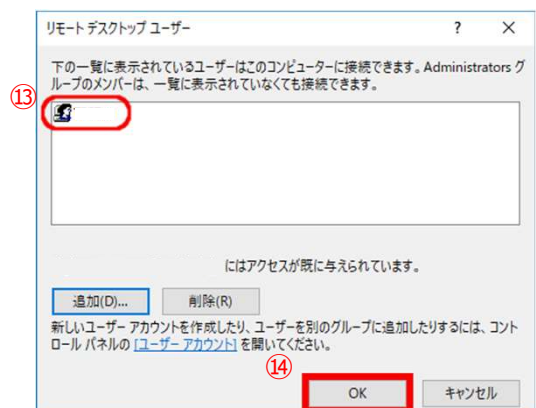
- ⑨ ユーザーの選択画面が表示されたら「検索」をクリックします。
- ⑩ 表示された検索結果から設定したいユーザーを選択します。



- ⑪ 選択したユーザーが正しいか確認します。
 - ⑫ 「OK」をクリックします。
- ※ 「選択するオブジェクト名を入力してください」の項目に直接ユーザー名を入力して選択することも可能です。ユーザー名の確認方法は本マニュアルの『ユーザー名確認方法』を参照してください。



- ⑬ 「リモートデスクトップ ユーザー」の一覧に設定が反映されているか確認します。
- ⑭ 「OK」をクリックして設定完了です。



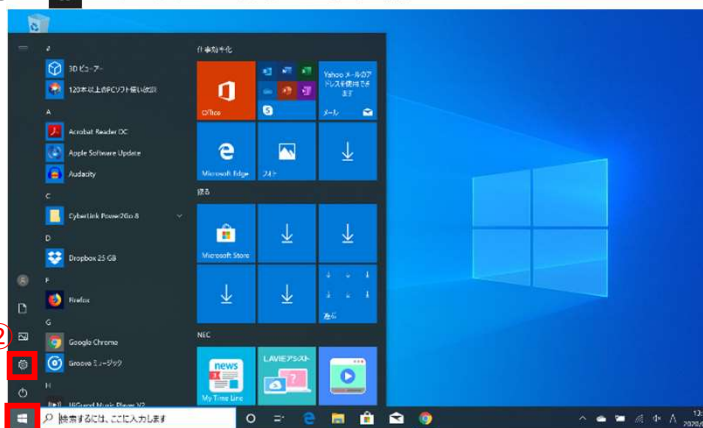
電源設定も前項の手順で忘れずに実施してください。

2.リモートデスクトップされる端末の設定 Windows10編

(2) 端末のIPアドレスの固定設定 ※リモートデスクトップ接続を利用する場合のみ実施

以下の設定はAdministrator権限で実施してください


- ① タスクバーの“”をクリックします
- ② “”をクリックして設定画面を開きます



- ③ “ネットワークとインターネット”をクリックします




※有線接続の場合

- ④ “イーサネット”をクリックします
- ⑤ “接続済み”となっているネットワーク()をクリックします

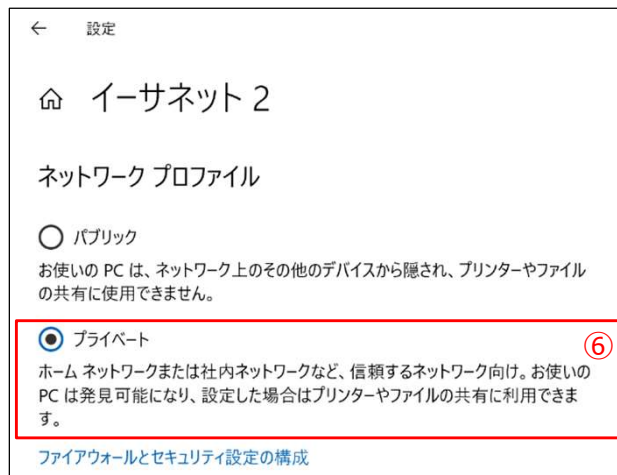


※Wi-Fiの場合

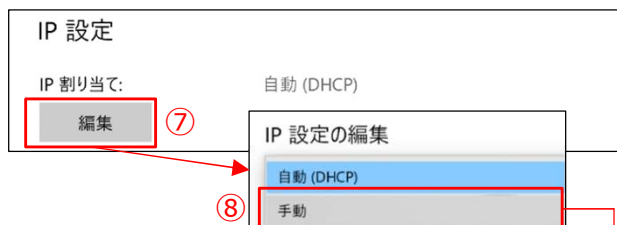
- ④ “Wi-Fi”をクリックします
- ⑤ 接続中のSSID名()をクリックします



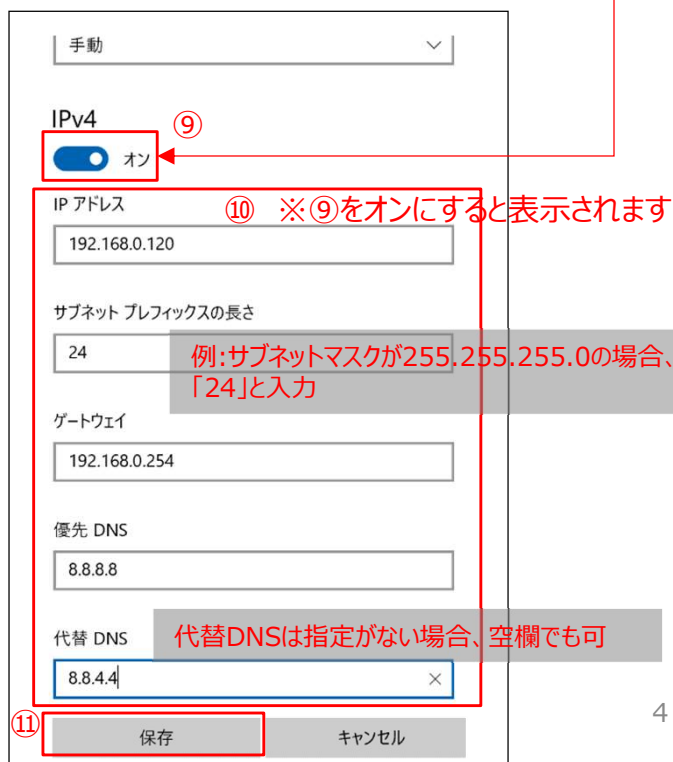
- ⑥ ネットワークプロファイルが“プライベート”に設定します
- ⑦ (下へスクロールし) IP設定の“編集”をクリックします
- ⑧ IP設定の編集が開きます。プルダウンから“手動”を選択します



下へスクロール



- ⑥ 拡張表示された画面内の“IPv4”にチェックを入れます
- ⑩ 設定する各項目を入力してください。
※「IPアドレス」は他端末と重複しない、任意の固定アドレスを入力してください
※その他の項目は、特に指定が無ければ現在お使いの値と同じものを入力してください
- ⑥ 保存をクリックして完了です



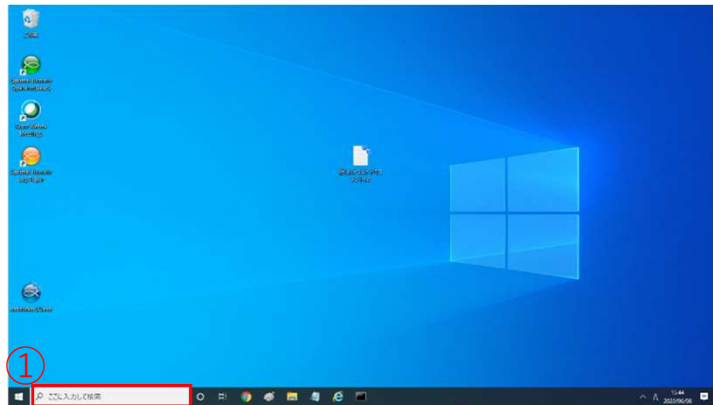
【参考】ログイン時のユーザー名確認方法

リモートデスクトップ接続時にいつも使っているユーザ名でログインできない場合、リモートデスクトップ接続時に使用できるユーザー名が異なっている可能性があります。事前設定時に予め確認しておくことで接続トラブルが回避できます。

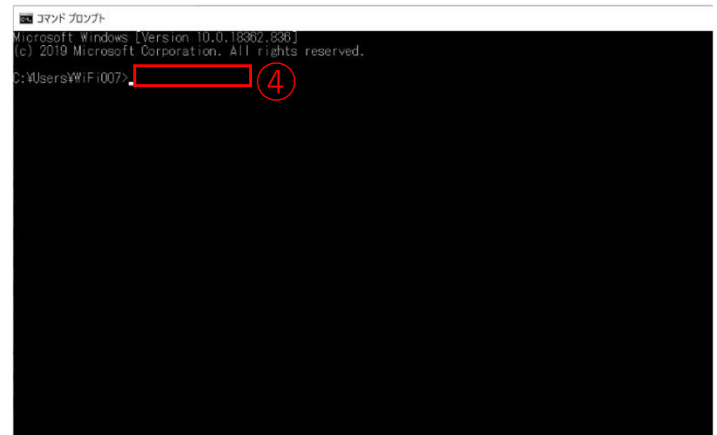


□内の太字がユーザー名です。
ここに**“ローカルアカウント”**と表示されている場合は、リモートデスクトップ利用時のログインに使用できるユーザー名が異なる場合があります。
この場合、以下の手順で正しいユーザー名確認します。

① タスクバーの**“検索欄”**をクリックします

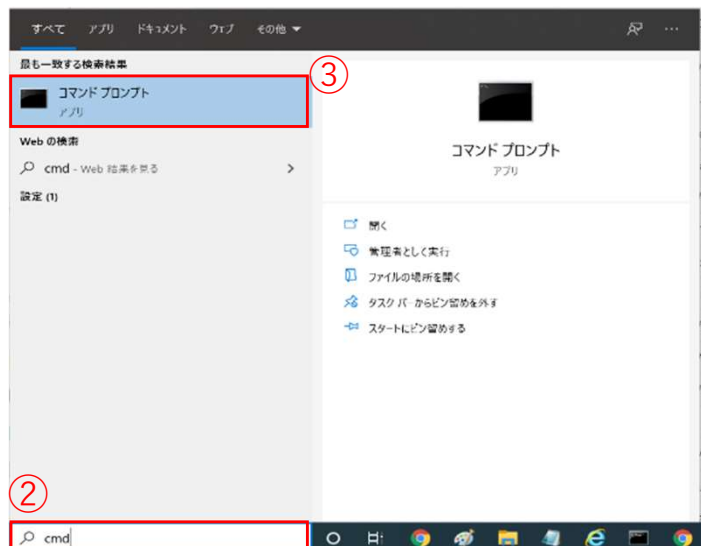


④ 画面が表示されたら**“set user”**と入力し、Enterキーを押下します

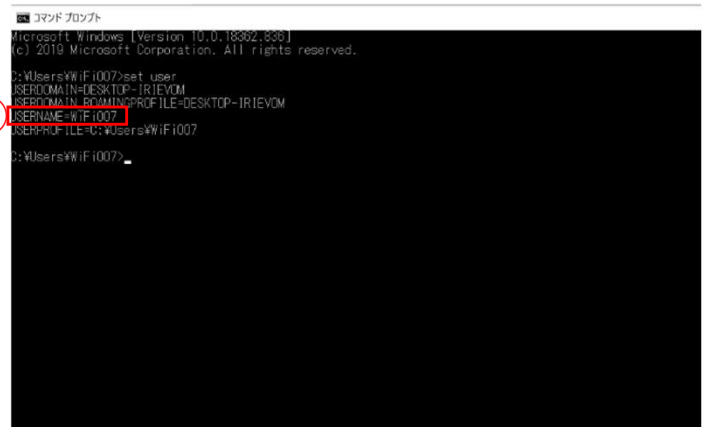


② 検索欄に**“cmd”**と入力します

③ 検索結果内に表示された、**“コマンドプロンプト”**をクリックしてください



⑤ 「USERNAME」の「=」の先に表示されているのが**“リモートデスクトップ時に使用するユーザー名”**です。




2.リモートデスクトップされる端末の設定 Windows11編

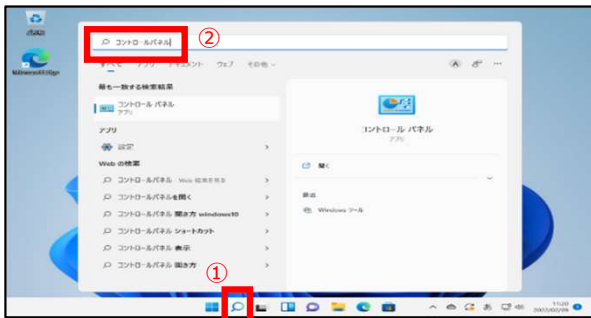
(1) PC環境設定 ※リモートデスクトップ接続を利用する場合のみ実施

以下の設定は管理者アカウントでログイン、または管理者アカウントをお持ちの方へ依頼し設定を実施してください。

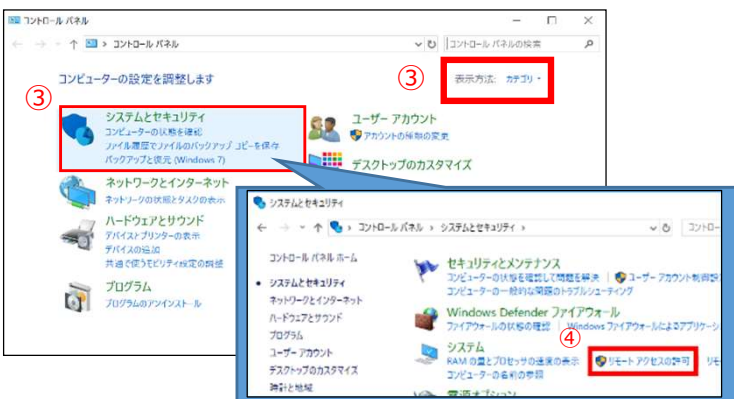
1 リモートデスクトップの許可設定

設定を行う管理者アカウント自身ではなく、標準ユーザアカウントに対して許可設定を行いたい場合は次頁の手順を参照してください。

- ① タスクバーの「」をクリックします
- ② 表示されたウィンドウの検索欄に、「コントロールパネル」と入力し、Enterキーを押します。



- ③ コントロールパネルが表示されたら、「システムとセキュリティ」をクリックします。下図の画面の表示になっていない場合、表示方法を「カテゴリ」に変更してください
- ④ 「リモートアクセスの許可」をクリックします。

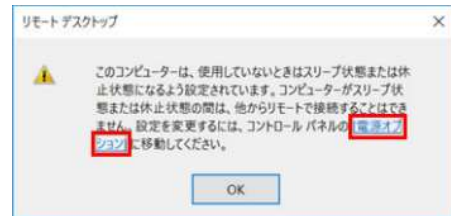


- ⑤ 『システムのプロパティ』画面が開きます。
- ⑥ “このコンピューターへのリモート接続を許可する”を選択します
- ⑦ “OK”をクリックします



2 電源オプションの変更

前項目で最後にOKを押したときにこの通知が出た場合は文中の“電源オプション”をクリックしてください。
※下記通知が表示されなかった場合は、設定不要です。



- ① 『電源オプション』画面が開きます。
“プラン設定の変更”をクリックします。



※電源プランが複数ある場合は、チェックマークがついている方の“プラン設定”をクリックしてください

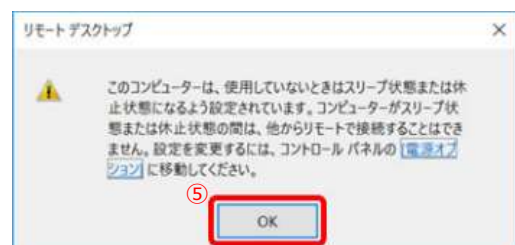
- ② 「コンピューターをスリープ状態にする」欄のプルダウンを2つとも“適応しない”を選択します
- ③ “変更の保存”をクリックします



- ④ 右上の“×”をクリックして画面を閉じてください



- ⑤ メッセージ画面に戻りますので、“OK”をクリックしてください。




以上で端末設定は完了です

2.リモートデスクトップされる端末の設定 Windows11編

【参考】標準ユーザアカウントへのリモートデスクトップ許可方法

リモートデスクトップ許可設定を行いたいアカウントが「標準ユーザ」の場合は、
管理者アカウントでログインし、本頁の手順でリモートデスクトップ許可設定を行います。
リモートデスクトップ許可設定を行いたいアカウントが「管理者」の場合は、前頁1の手順で実施してください。

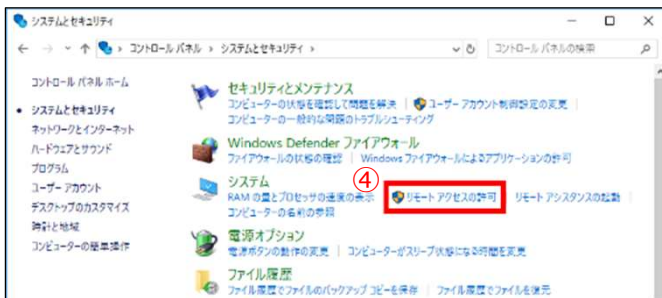
- ① タスクバーの「」をクリックします
- ② 表示されたウィンドウの検索欄に、「コントロールパネル」と入力し、Enterキーを押します。



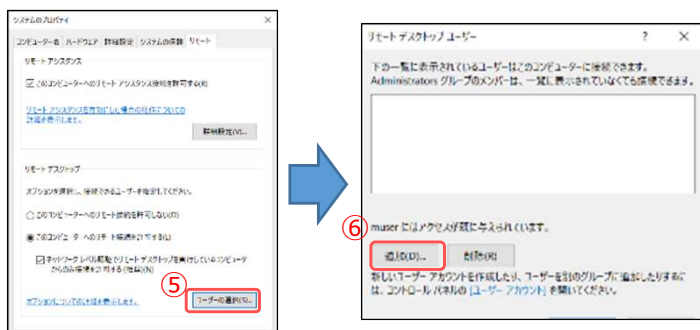
- ③ コントロールパネルが表示されたら、「システムとセキュリティ」をクリックします。下図の画面の表示になっていない場合、表示方法を「カテゴリ」に変更してください



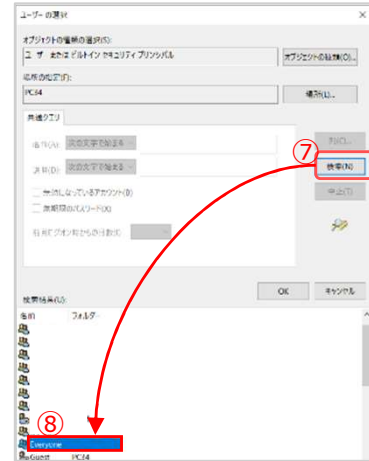
- ④ “リモートアクセスの許可”をクリックします。



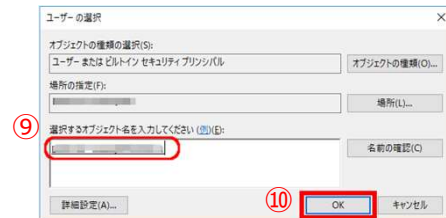
- ⑤ “ユーザーの選択(S)...”をクリックします。
- ⑥ “追加(D)...”をクリックします。



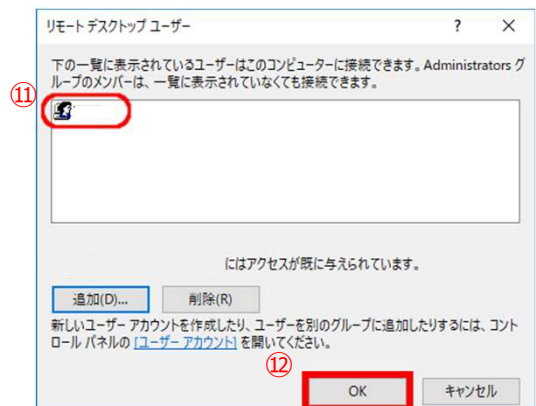
- ⑦ ユーザーの選択画面が表示されたら“検索”をクリックします。
- ⑧ 表示された検索結果から設定したいユーザーを選択します。



- ⑨ 選択したユーザーが正しいか確認します。
 - ⑩ “OK”をクリックします。
- ※ “選択するオブジェクト名を入力してください”の項目に直接ユーザー名を入力して選択することも可能です。ユーザー名の確認方法は本マニュアルの『ユーザー名確認方法』を参照してください。



- ⑪ “リモートデスクトップ ユーザー”の一覧に設定が反映されているか確認します。
- ⑫ “OK”をクリックして設定完了です。



電源設定も前項の手順で忘れずに実施してください。

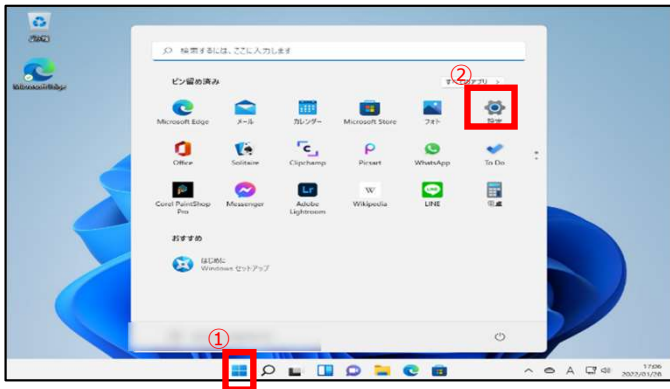
2.リモートデスクトップされる端末の設定 Windows11編

(2) 端末のIPアドレスの固定設定 ※リモートデスクトップ接続を利用する場合のみ実施

本手順は有線接続を利用している端末のIPアドレスを固定する手順です。
Wi-Fiを利用している端末のIPアドレスを固定する手順は本マニュアルの9ページを参照してください。

以下の設定はAdministrator権限で実施してください

- ① タスクバーの“”をクリックします
- ② “設定”をクリックします



- ③ “ネットワークとインターネット”をクリックします
- ④ “イーサネット”をクリックします



- ⑤ “ネットワークプロファイルの種類”をパブリックからプライベートへ変更します
- ⑥ IP設定の“編集”をクリックします



- ⑦ IP設定の編集が開きます。プルダウンから“手動”を選択します
- ⑧ “IPv4”を“オン”にします
- ⑨ 設定する各項目を入力してください。

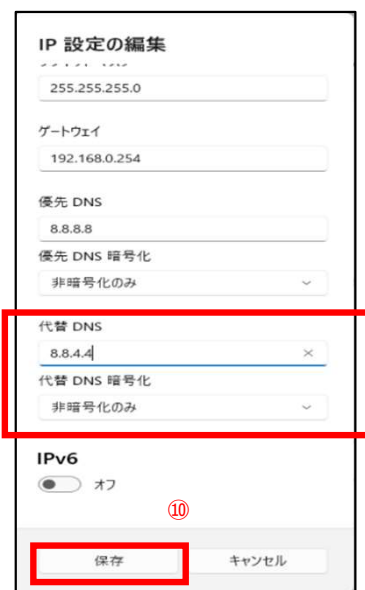
※「IPアドレス」は他端末と重複しない、任意の固定アドレスを入力してください

※その他の項目は、特に指定が無ければ現在お使いの値と同じものを入力してください

- ⑩ 保存をクリックして完了です



下へスクロール



以上で端末設定は完了です

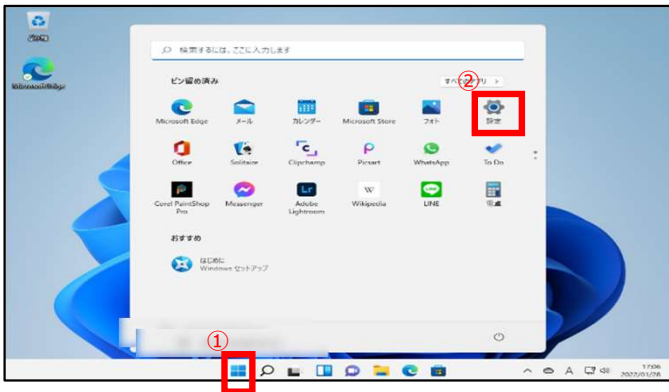
2.リモートデスクトップされる端末の設定 Windows11編

(2) 端末のIPアドレスの固定設定 ※リモートデスクトップ接続を利用する場合のみ実施

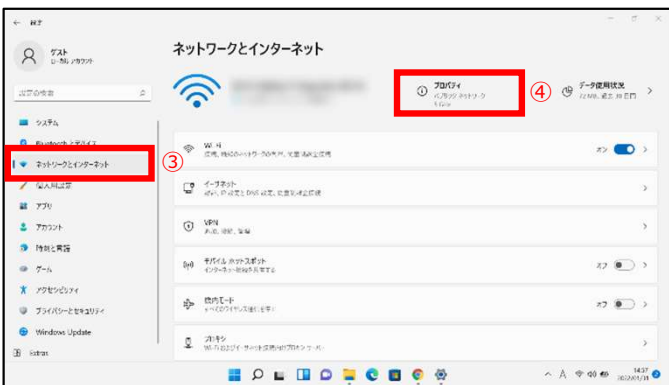
本手順はWi-Fiを利用している端末のIPアドレスを固定する手順です。
有線接続を利用している端末のIPアドレスを固定する手順は本マニュアルの8ページを参照してください。

以下の設定はAdministrator権限で実施してください

- ① タスクバーの“”をクリックします
- ② “設定”をクリックします



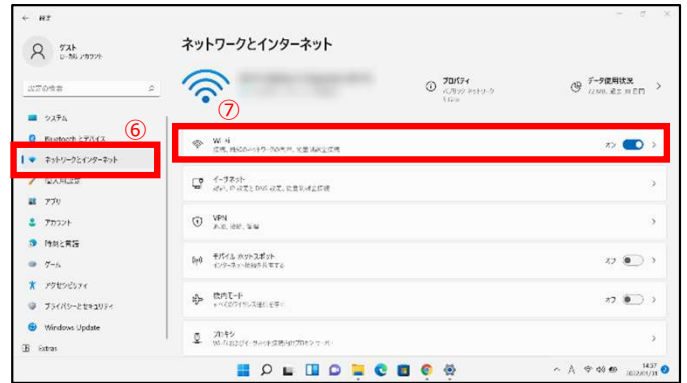
- ③ “ネットワークとインターネット”をクリックします
- ④ プロパティをクリックします



- ⑤ “ネットワークプロファイルの種類”をパブリックからプライベートへ変更します



- ⑥ “ネットワークとインターネット”をクリックします
- ⑦ “Wi-Fi”をクリックします



- ⑧ 接続しているSSID名の“プロパティ”をクリックします



- ⑨ 下へスクロールしてIP設定の“編集”をクリックします



以降の手順はP8の⑦～⑩と同様の手順です

2.リモートデスクトップされる端末の設定 Windows11編

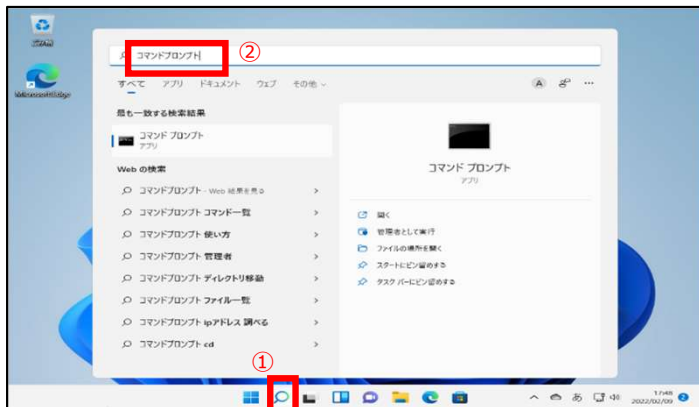
【参考】ログイン時のユーザー名確認方法

リモートデスクトップ接続時にいつも使っているユーザ名でログインできない場合、リモートデスクトップ接続時に使用できるユーザー名が異なっている可能性があります。事前設定時に予め確認しておくことで接続トラブルが回避できます。

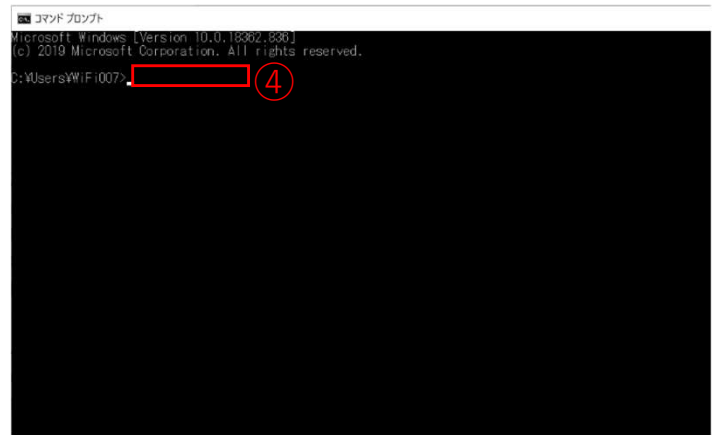


□内の太字がユーザー名です。
ここに**“ローカルアカウント”**と表示されている場合は、リモートデスクトップ利用時のログインに使用できるユーザー名が異なる場合があります。
この場合、以下の手順で正しいユーザー名確認します。

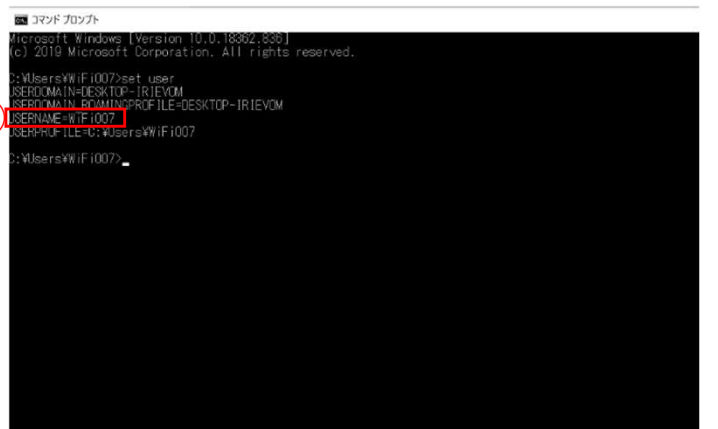
- ① タスクバーの“”をクリックします
- ② 表示されたウィンドウの検索欄に、「コマンドプロンプト」と入力し、Enterキーを押します。



- ③ 画面が表示されたら“set user”と入力し、Enterキーを押下します



- ④ 「USERNAME」の「=」の先に表示されているのが「リモートデスクトップ時に使用するユーザー名」です。



3.外出先に持ち出す端末への設定

リモート接続先情報の確認（事前確認）

外出先に持ち出す端末のVPN設定を行う際に必要な、「接続先情報（サーバアドレス）」を事前にご確認下さい。また、接続先のギガらくルーターType-Y装置で使用している接続方式によって「サーバアドレス」の指定方法が異なりますのでご注意ください。

■ 接続先のギガらくルーターType-Y装置をIPoE（固定IPタイプ）方式またはPPPoE（固定IPタイプ）でご利用の場合

「接続先情報」にギガらくルーターType-Y装置の「グローバルIPv4アドレス」を使用します。

※本情報は、本頁以降の設定で使用します。

グローバルIPv4アドレス・・・ ギガらくルーターType-Y装置に設定した
グローバルIPv4アドレス

Windows10のVPN設定
「接続先情報」の入力画面例

VPN接続を追加

VPN プロバイダー
Windows (ビルトイン)

接続名
VPN接続

サーバー名またはアドレス
ギガらくルーターType-Y装置の
グローバルIPv4アドレスを指定

VPNの種類

■ 接続先のギガらくルーターType-Y装置をPPPoE方式でご利用の場合

「接続先情報」に事前申し込み頂いている、「DDNS名」を使用します。

※本情報は、本頁以降の設定で使用します。

Windows10のVPN設定
「接続先情報」の入力画面例

VPN接続を追加

VPN プロバイダー
Windows (ビルトイン)

接続名
VPN接続

サーバー名またはアドレス
DDNS名を指定※

VPNの種類

※DDNS名：[ユーザ指定文字]-[Type-Y装置のシリアル番号].aa0.netvolante.jp

接続先情報についてご不明な点がある場合はサポートセンタまでご連絡ください。
サポートセンタの連絡先は開通のご案内をご覧ください。

3.外出先に持ち出す端末への設定

(1) Windows10端末版・事前設定 (VPN設定)

- ① デスクトップ画面からスタートメニューを立ち上げ、“設定”画面を開きます (下図参照)
- ② 設定画面から“ネットワークとインターネット”を開きます



① をクリックし、 をクリックします

- ③ 項目の中から“VPN”をクリックします
- ④ “VPN接続を追加する”をクリックします



⑤ 下記画面が表示されますので、以下の通り入力します

VPN接続を追加

VPN プロバイダー
Windows (ビルトイン) “Windows (ビルトイン)”を選択

接続名
VPN接続 任意で名前を設定してください

サーバー名またはアドレス
DDNS名またはIPアドレス P11で事前に確認した接続先情報を入力 (DDNS名またはIPアドレス)

VPNの種類
事前共有キーを使ったL2TP/IPsec “事前共有キーを使ったL2TP/IPsec”を選択

事前共有キー
●●●●●●●● “シークレットキー”を入力

サインイン情報の種類
ユーザー名とパスワード “ユーザー名とパスワード”を選択

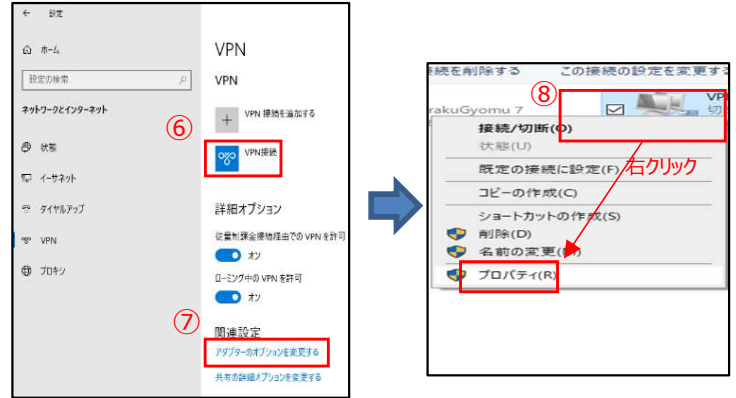
ユーザー名 (オプション)
リモートアクセスのユーザーID リモートアクセスユーザーIDとパスワードを入力

パスワード (オプション)
リモートアクセスのパスワード

サインイン情報を保存する 入力完了したら“保存”をクリックし終了します

<任意>
本項目にチェックを入れると、次回VPN接続時のアカウントID・パスワードの入力を省略できます

- ⑥ 作成したVPN接続先が追加されたことを確認します。
- ⑦ “アダプターのオプションを変更する”をクリックします
- ⑧ 作成済みVPN接続アイコンを右クリックをし、“プロパティ”をクリックします



- ⑨ 「セキュリティ」を選択します
- ⑩ “IPsecを利用したレイヤー-2 トンネリングプロトコル (L2TP/IPsec)”になっていることを確認
- ⑪ データの暗号化を“暗号化が必要 (サーバーが拒否する場合は切断します)”に変更します。
- ⑫ 認証で“次のプロトコルを許可する”を選択し、“CHAP”にチェックが入っていることを確認
- ⑬ “OK”をクリックし、詳細プロパティ画面を閉じます

VPN接続のプロパティ

全般 オプション セキュリティ ネットワーク

VPNの種類(T):
IPsecを利用したレイヤー-2トンネリングプロトコル (L2TP/IPsec) “暗号化が必要 (サーバーが拒否する場合は切断します)”を選択

データの暗号化(D):
暗号化が必要 (サーバーが拒否する場合は切断します)

認証

拡張認証プロトコル (EAP) を使う(E)

次のプロトコルを許可する(P) “次のプロトコルを許可する”を選択

暗号化されていないパスワード (PAP)(U)

チャレンジハンドシェイク認証プロトコル (CHAP)(H) “CHAP”が選択されていること

Microsoft CHAP Version 2 (MS-CHAP v2)

Windows のログオン名とパスワード (およびドメインがある場合はドメイン) を自動的に使う(A)

入力終了したら“OK”をクリックし終了

以上でVPN接続の事前設定は終了です。

※IPoE固定回線で利用する場合は、NATトラバースル設定を有効にする必要があります

3.外出先に持ち出す端末への設定

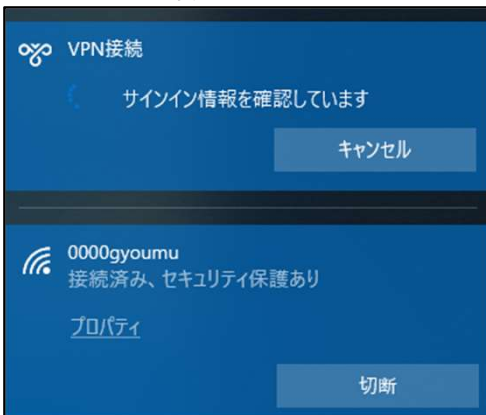
(1) Windows10端末版・接続手順 (①VPN接続)

- ① デスクトップに表示されているタスクバーの「ネットワーク状態」アイコンをクリックして一覧を開きます
- ② 作成したVPN接続先の“接続”をクリックします



- ③ 接続に成功すると、VPN接続名の下に“接続済み”と表示されます

<接続中画面>



<接続成功画面>




以上で設定は終了です。
接続に失敗する場合はP18の「VPN接続できないときの主な対処法」を参照し、設定の見直しをお願いします。

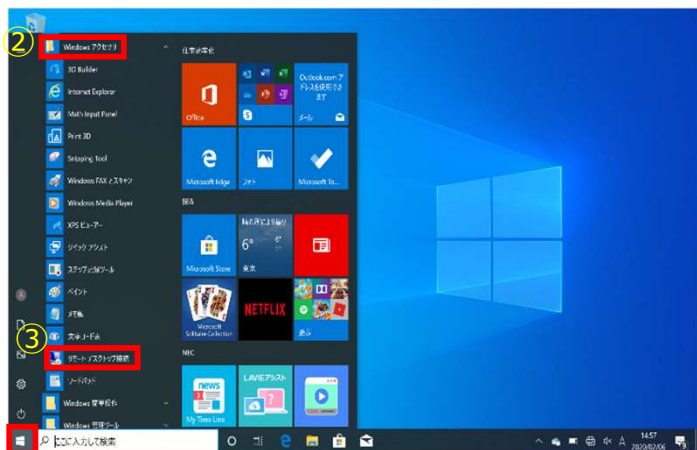
3.外出先に持ち出す端末への設定

(1) Windows10端末版・接続手順 (2)リモートデスクトップ接続

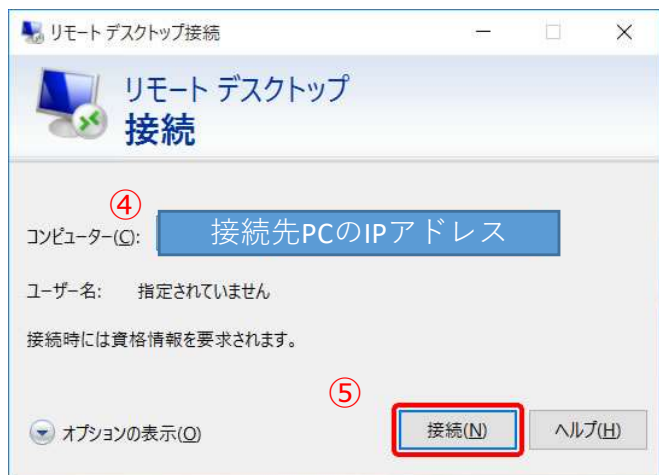
リモートデスクトップ接続を利用する方の手順です。

社内LAN接続方式を利用する場合は本頁の設定はせず、次頁の設定を実施してください。

- ① 画面左下の“”マークをクリックします。
- ② “Windowsアクセサリ”を開きます。
- ③ “リモートデスクトップ接続”をクリックします。



- ④ “コンピューター”欄にリモートデスクトップ接続先PCの接続先のIPアドレスを入力します。
※確認方法は事前準備編 3 - (2) を参照
- ⑤ “接続” をクリックします。



- ⑥ 接続に成功すると『Windows セキュリティ』画面が表示されますので、接続先PCのログインする際に使用する“ユーザー名”と“パスワード”を入力します。
- ⑦ “OK” をクリックします。



接続先PCのデスクトップが表示されたら接続成功です
下記のメッセージ画面が出た場合は、「はい」をクリックして閉じてください。



以上で設定は終了です。
※ログインできない場合、ログインに使用するユーザー名が異なる場合があります。接続先端末がWindows10の場合P8、Windows11の場合P13の手順も併せてご確認ください

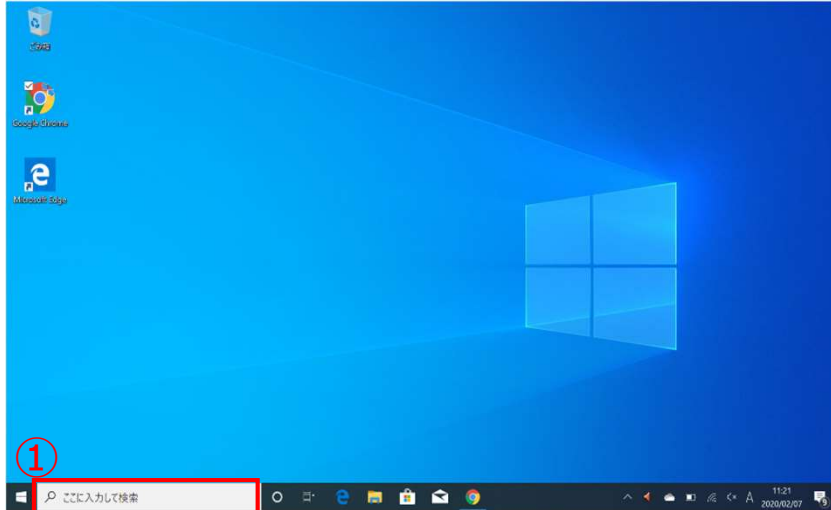
3.外出先に持ち出す端末への設定

(1) Windows10端末版・接続手順 (③社内LAN接続)

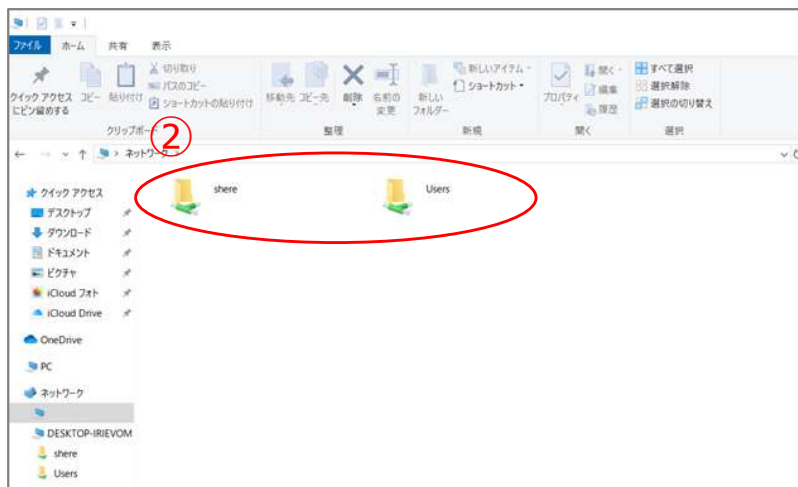
社内LAN接続方式を利用する方の手順です。

リモートデスクトップ接続を利用する場合は本頁の設定はせず、前頁の設定を実施してください。

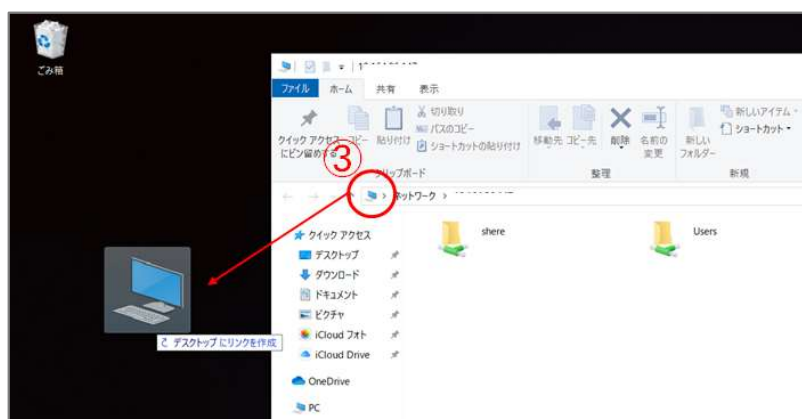
- ① タスクバーの検索欄に、「¥¥接続したいサーバ・端末のIPアドレス」を入力し、実行します
(例) ¥¥192.168.1.1



- ② 入力した接続先が表示されますので、閲覧できるか確認します。接続できたら設定は終了です。



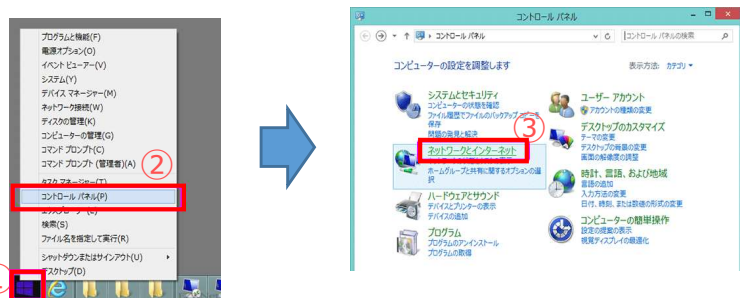
【参考】 ○ の部分をデスクトップにドラッグするとショートカットが作成でき、次回以降のアクセスが簡単になります。



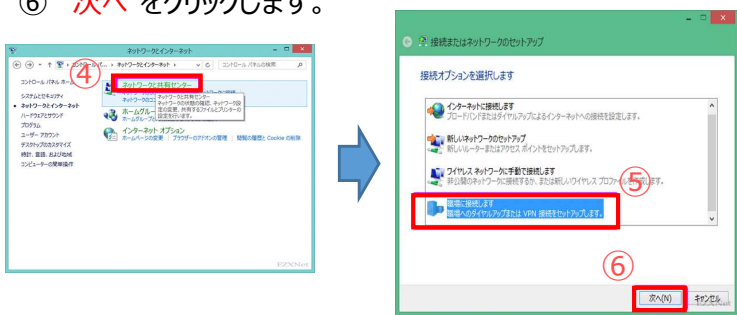
3.外出先に持ち出す端末への設定

【参考】Windows8.1端末版・事前設定 (VPN設定)

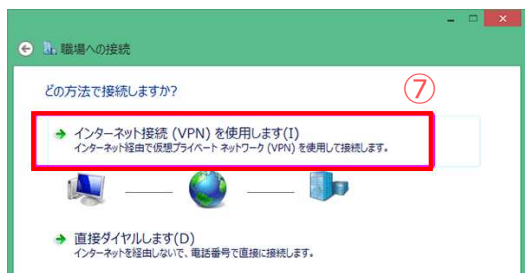
- ① デスクトップ左下の“Windowsアイコン”を右クリックします。
- ② “コントロールパネル”をクリックします。
- ③ “ネットワークとインターネット”をクリックします。



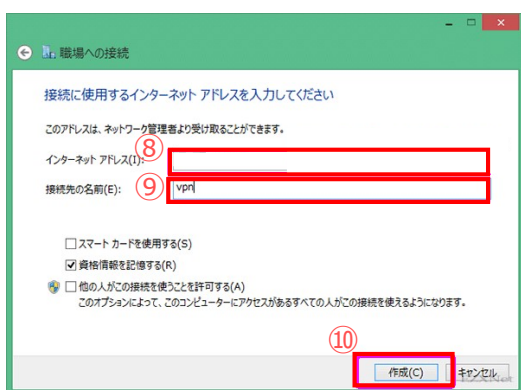
- ④ “ネットワークと共有センター”をクリックします。
- ⑤ “職場に接続します”を選択します。
- ⑥ “次へ”をクリックします。



- ⑦ “インターネット接続 (VPN) を使用します”を選択します。



- ⑧ “インターネットアドレス”に事前に確認したDDNS名または接続先IPアドレスを入力します。(参考P11)
- ⑨ “接続先の名前”に任意の名前を入力します。
- ⑩ “作成”をクリックします。
クリック後に接続先が「ネットワーク」に表示されます。



- ⑪ 「ネットワークと共有センター」のページに戻り、画面左にある“アダプターの設定変更”をクリックします。
- ⑫ 追加したアイコンを右クリックし、“プロパティ”を選択します。



- ⑬ 「セキュリティ」を選択します。
- ⑭ VPNの種類項目を“IPsecを利用したレイヤー2 トンネリング プロトコル(L2TP/IPsec)”を選択します。
- ⑮ “詳細設定”をクリックします。
- ⑯ “認証に事前共有キーを使う”にチェックを入れます。
- ⑰ 「キー」の欄にギガらくルーターType-Yの設定申込書に申請した“シークレットキー”を入力します。
- ⑱ “OK”をクリックしてください。



- ⑲ 「データの暗号化」の項目を“暗号化が必要(サーバーが拒否する場合は切断します)”に変更します。
- ⑳ “次のプロトコルを許可する”にチェックを入れます。
- ㉑ “CHAP”のみにチェックをいれます。
- ㉒ “OK”をクリックします。

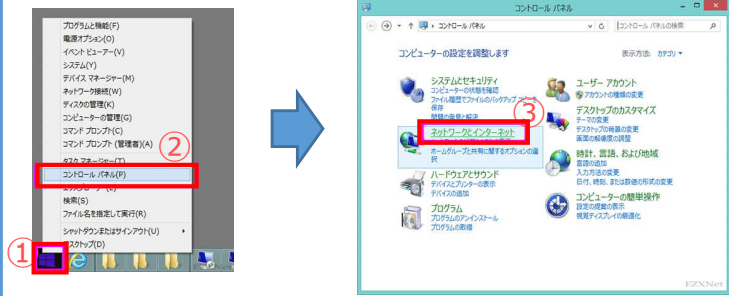


以上で設定は完了です。

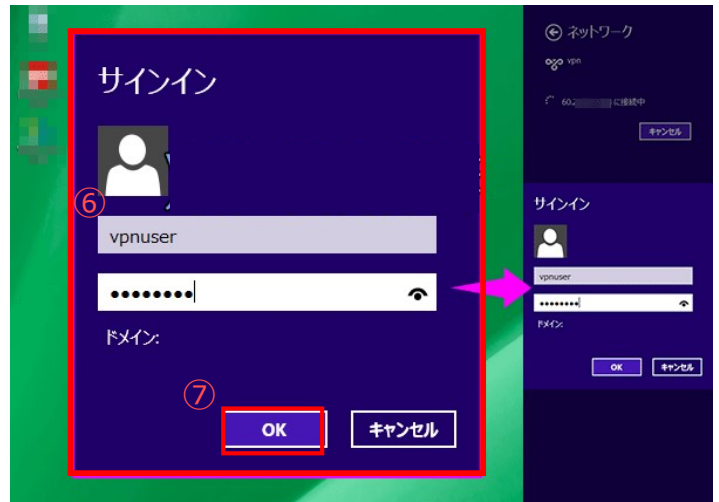
3.外出先に持ち出す端末への設定

【参考】Windows8.1端末版・接続手順（VPN接続）

- ① デスクトップ左下の“Windowsアイコン”を右クリックします。
- ② “コントロールパネル”をクリックします。
- ③ コントロールパネルの“ネットワークとインターネット”をクリックします。



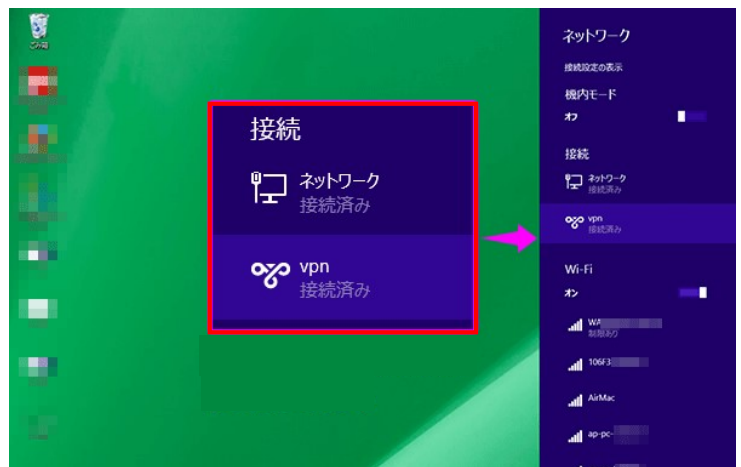
- ⑥ “ユーザー名”と“パスワード”を入力します。
- ⑦ “OK”をクリックします。



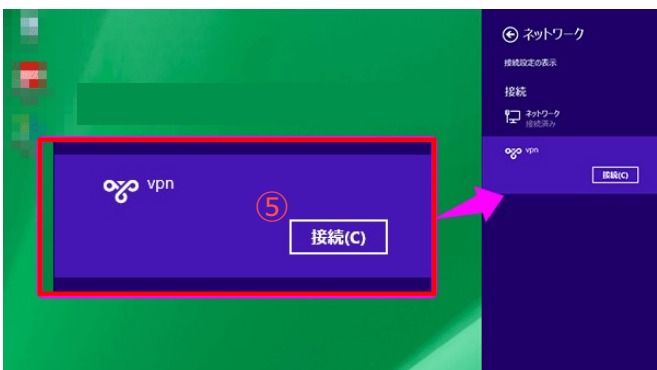
- ④ 作成したVPN接続先をクリックして“この接続を開始する”を選択します。



- ⑧ VPN接続に成功するとチャームにあるVPNの項目に“接続済み”と表示されます。



- ⑤ チャームにVPN接続が表示されます。“接続”をクリックします。



以上で接続完了です。

※IPoE固定回線で利用する場合は、NATトラバースル設定を有効にする必要があります

3.外出先に持ち出す端末への設定

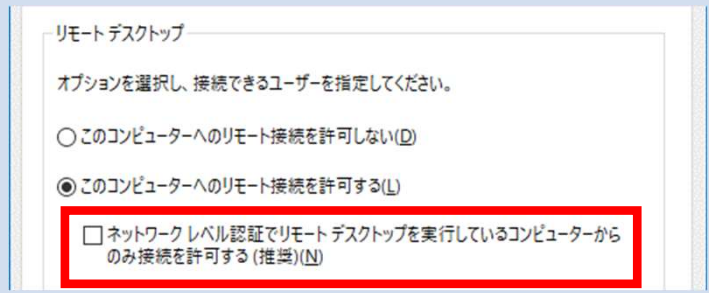
【参考】VPN接続できないときの主な対処法（Windows10版）

エラーメッセージ	考えられる原因	対処法
リモートアクセスサーバの名前を解決できなかったため、リモート接続は行われませんでした。	ホスト名（DDNSネーム）の設定を誤っている	<p>p12の、設定“サーバ名またはアドレス”の項目に誤りが無いか確認してください。</p> <p>接続先のギガらくルーターType-Y装置でPPPoE（動的IP）ご利用の場合はDDNS名を指定</p> <p>IPoE（固定IP）またはPPPoE（固定IP）ご利用の場合はギガらくルーターType-Y装置のグローバルIPアドレスを指定</p>
指定したユーザ名またはパスワードが認識されないか、選択した認証プロトコルがリモートアクセスサーバで許可されていない為、リモート接続が拒否されました。	ユーザー名、パスワードの設定を誤っている	p12の設定“ユーザー名”または“パスワード”の項目に誤りが無いか確認してください。
	認証プロトコルが正しく選択されていない	p12の設定「データ暗号化」の設定項目の“次のプロトコルを許可する(P)”にチェックが入っている、かつ“MS-CHAPv2”のみにチェックが入力されているかを確認してください。
リモートコンピュータと事前にネゴシエートするときに、セキュリティ層で処理エラーが検出されたため、L2TP接続に失敗しました。	事前共有キーの設定を誤っている	p12の設定“事前共有キー”の項目に入力されている“シークレットキー”に誤りが無いか確認してください。
	同じ回線やネットワークでの折り返し通信になっているためエラーが発生している。	会社内で設定している場合に発生します。ギガらくルーターType-Y装置を接続している回線とは別の回線から接続を試してみてください。（モバイル回線などのテザリングなど、全く別の回線でお試ください）

3.外出先に持ち出す端末への設定

【参考】リモートデスクトップアプリの接続ができないときの主な対処法

事象（エラーメッセージ）	考えられる原因	対処法
リモートデスクトップはリモートコンピュータに接続できません。	接続先IPアドレスの入力が間違っている	入力した接続先 I P アドレスが、会社側のリモートデスクトップされる側の P C に設定した I P アドレスと同じか再度確認してください。 また、会社側のリモートデスクトップされる側の P C に設定した I P アドレスが間違っていないかも併せてご確認ください。
	リモートデスクトップ許可設定がされていない	P3の「リモートデスクトップ許可設定」がされているか、再度確認ください。
	リモートデスクトップされる側の P C の電源が O F F になっている / スリープ状態になっている	リモートデスクトップを行うには、リモートデスクトップされる側の P C の電源が O N になっている必要があります。 電源が O F F になっていないか、スリープになっていないかご確認ください。 なお、スリープ解除方法はp2を参照してください。
	ネットワークプロファイルが「プライベート」となっていない	ネットワークプロファイルの設定がプライベート以外になっていないか確認します。※この場合、リモートデスクトップできません P2の①～⑥の手順で、ネットワークプロファイルの設定を確認および必要に応じて設定変更してください。
お使いの資格情報は機能しませんでした (ユーザー名またはパスワードが違うため接続できない)	ユーザー名が間違っている	①アカウント名に間違いが無いか再度確認してください (使用するアカウントはリモートデスクトップされる側の端末 = 会社側のもののため注意) ②お使いのアカウントがローカルアカウントでないか確認します。 p5の手順に従い、正しいユーザー名を確認し、再度入力してください。
	パスワードが間違っている	①パスワードに間違いが無いか再度確認してください (使用するパスワードはリモートデスクトップされる側の端末 = 会社側のもののため注意) ②リモートデスクトップされる側の端末のパスワードが、PINコード入力となっていないか確認します。 この場合、パスワード入力に設定を変更してください
認証エラーが発生しました。 要求された関数はサポートされていません。 リモートコンピュータ：(コンピュータ名) 原因はCredSSP暗号化オラクルの修復である可能性があります。	リモートデスクトップされる側の端末と外出先の端末で利用しているリモートデスクトップ接続に利用する認証プロバイダ (CredSSP) のバージョンに差が生じたために発生した可能性があります。 ※リモートデスクトップされる側端末のバージョンが古いことが多い	双方の端末のWindows O S を最新版にアップデートし、再度接続を試みてください。 Windows O S を最新版にアップデートできない場合、以下の方法により解決する場合があります。 ※セキュリティの脆弱性が生まれる可能性があるため、設定は自己判断でお願いします P2・⑥⑦の手順に加え、「オプション」をクリックし「ネットワークレベル認証でリモートデスクトップを実行しているコンピュータからのみ接続を許可する」のチェックを外します。

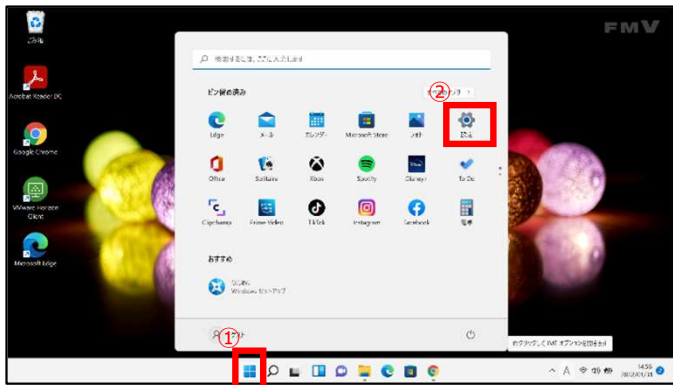


3.外出先に持ち出す端末への設定

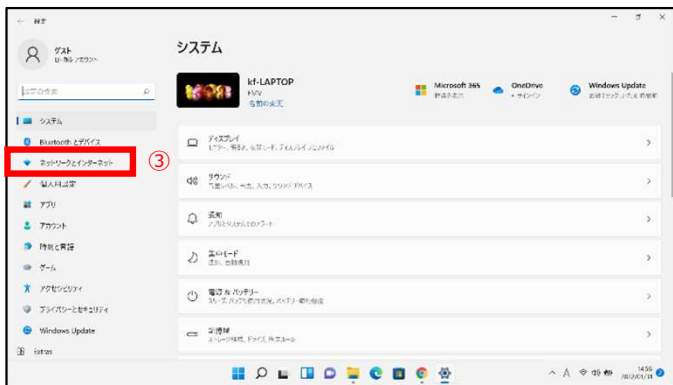
(1) Windows11 端末版・事前設定 (VPN設定)

① タスクバーの“**スタート**”をクリックします

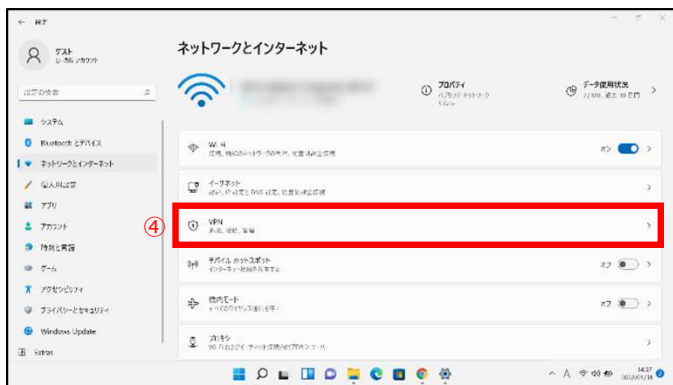
② “**設定**”を選択します



③ “**ネットワークとインターネット**”をクリックします



④ “**VPN**”をクリックします



⑤ “**VPNを追加**”をクリックします



⑥ 下記画面が表示されますので、以下の通り入力します

VPN接続を追加

VPN プロバイダー
Windows (ビルトイン) **“Windows (ビルトイン)”を選択**

接続名
VPN接続 **任意で名前を設定してください**

サーバー名またはアドレス

DDNS名または接続先IPアドレスを入力 (参考: P11)

VPN の種類
事前共有キーを使った L2TP/IPsec **“事前共有キーを使った L2TP/IPsec”を選択**

事前共有キー

ギガらくルーターType-Y設定申込書で申請した “シークレットキー”を入力

サインイン情報の種類
ユーザー名とパスワード **“ユーザー名とパスワード”を選択**

保存 キャンセル

下へスクロール

ユーザー名 (オプション)

ギガらくルーターType-Yの設定申込書で申請したアカウントIDを入力

パスワード (オプション)

ギガらくルーターType-Yの設定申込書で申請したパスワードを入力

サインイン情報を保存する **<任意> 本項目にチェックを入れると、次回VPN接続時のアカウントID・パスワードの入力を省略できます**

保存 キャンセル

入力が完了したら
“**保存**”をクリックし終了します

⑦ 作成したVPN接続先が追加されたことを確認します。

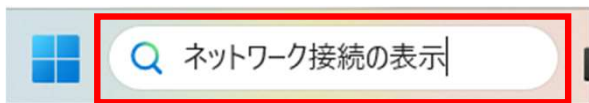


次のページへ続きます

3.外出先に持ち出す端末への設定

(1) Windows11端末版・事前設定 (VPN設定)

- ⑧ タスクバーの検索ボックスで、“ネットワーク接続の表示”を検索します。



⑧

- ⑨ 最も一致する検索結果の“ネットワーク接続の表示”をクリックします。

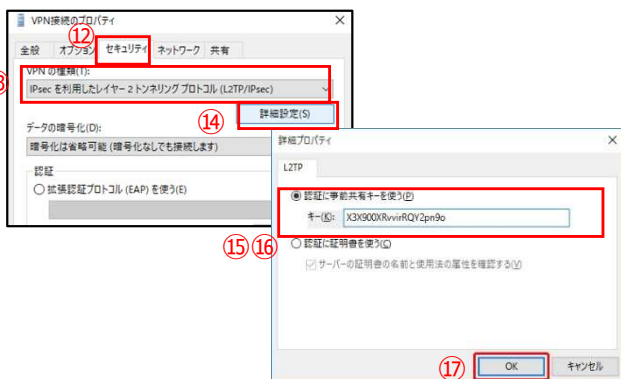


⑨

- ⑩ 作成済みVPN接続アイコンを右クリックをし、
⑪ “プロパティ”をクリックします



- ⑫ 「セキュリティ」を選択します
⑬ “IPsecを利用したレイヤー-2 トンネリングプロトコル (L2TP/IPsec)”を選択します
⑭ “詳細設定”をクリックします。
⑮ “認証に事前共有キーを使う”を選択し、
⑯ 「キー」の入力ボックスにギガらくルーターType-Y設定申込書にて申請した「シークレットキー」を入力してください
⑰ “OK”をクリックし、詳細プロパティ画面を閉じます



- ⑱ VPN接続のプロパティ画面に戻りますので“セキュリティタブ”の、“データの暗号化”部分を以下のように設定します。



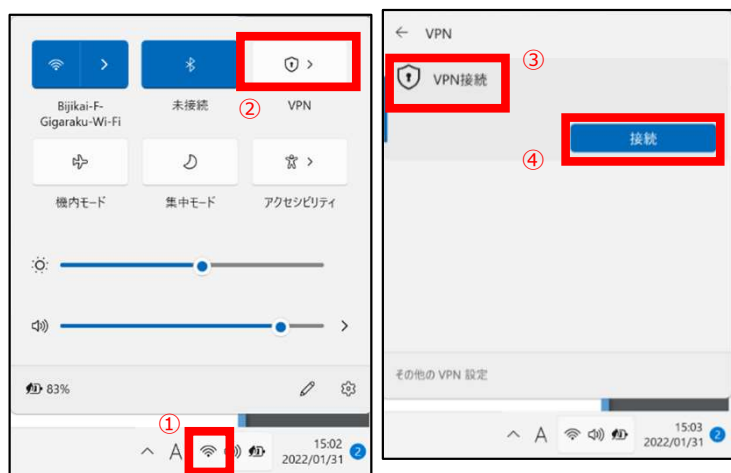
以上でVPN接続の事前設定は終了です。

※IPoE固定回線で利用する場合は、NATトラバースル設定を有効にする必要があります

3.外出先に持ち出す端末への設定

(1) Windows11端末版・接続手順 (①VPN接続)

- ① デスクトップに表示されているタスクバーの「ネットワーク状態」アイコンをクリックして一覧を開きます
- ② “VPN”をクリックします
※アイコンが表示されていない場合は右記の「VPNアイコン追加手順」に従いアイコンを追加してください
- ③ 作成したVPN接続先の“名前”をクリックします(例の場合はVPN接続)
- ④ “接続”をクリックします



- ⑤ 接続に成功すると、VPN接続名の下に“接続済み”と表示されます

<接続中画面>



<接続成功画面>



以上で設定は終了です。
接続に失敗する場合はp18の「VPN接続できないときの主な対処法」を参照し、設定の見直しをお願いします。

<参考>

VPNアイコン追加手順

- ① デスクトップに表示されているタスクバーの「ネットワーク状態」アイコンをクリックして一覧を開きます
- ② 表示された画面の下部（赤枠の部分）を右クリックします
- ③ “クイック設定の編集”をクリックします



- ④ “追加”をクリックします
- ⑤ “VPN”をクリックします
- ⑥ “完了”をクリックします




以上でVPNアイコン追加手順は終了です。

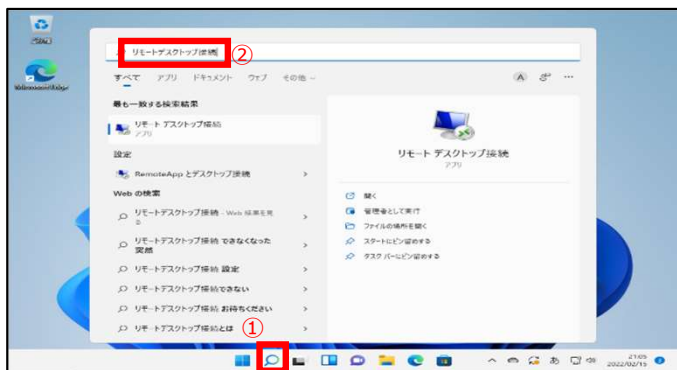
3.外出先に持ち出す端末への設定

(1) Windows11端末版・接続手順 (2)リモートデスクトップ接続

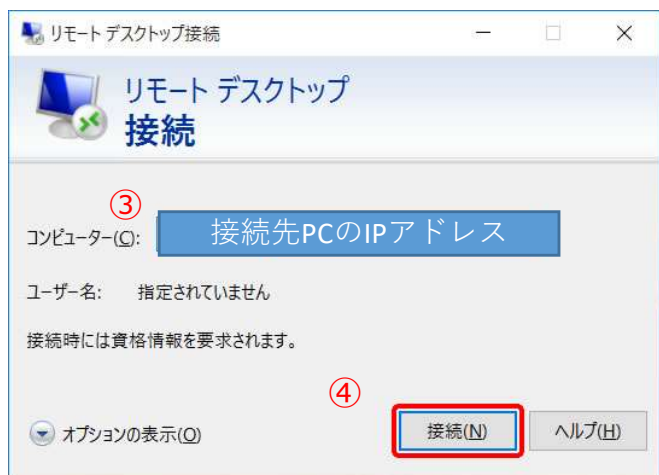
リモートデスクトップ接続を利用する方の手順です。

社内LAN接続方式を利用する場合は本頁の設定はせず、次頁の設定を実施してください。

- ① タスクバーの「」をクリックします
- ② 表示されたウィンドウの検索欄に、「リモートデスクトップ接続」と入力し、Enterキーを押します。



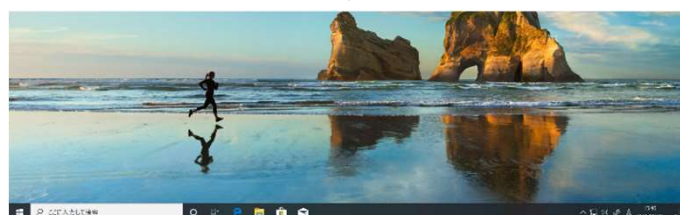
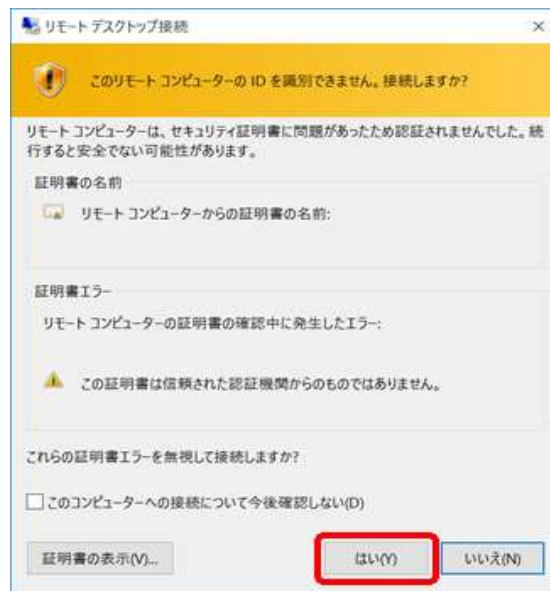
- ③ “コンピューター”欄にリモートデスクトップ接続先PCの接続先のIPアドレスを入力します。
※確認方法は事前準備編 3 - (2) を参照
- ④ “接続” をクリックします。



- ⑤ 接続に成功すると『Windows セキュリティ』画面が表示されますので、接続先PCのログインする際に使用する“ユーザー名”と“パスワード”を入力します。
- ⑥ “OK” をクリックします。



接続先PCのデスクトップが表示されたら接続成功です
下記のメッセージ画面が出た場合は、「はい」をクリックして閉じてください。



以上で設定は終了です。

※ログインできない場合、ログインに使用するユーザー名が異なる場合があります。接続先端末がWindows10の場合P5、Windows11の場合P10の手順も併せてご確認ください

3.外出先に持ち出す端末への設定

(1) Windows11端末版・接続手順 (③社内LAN接続)

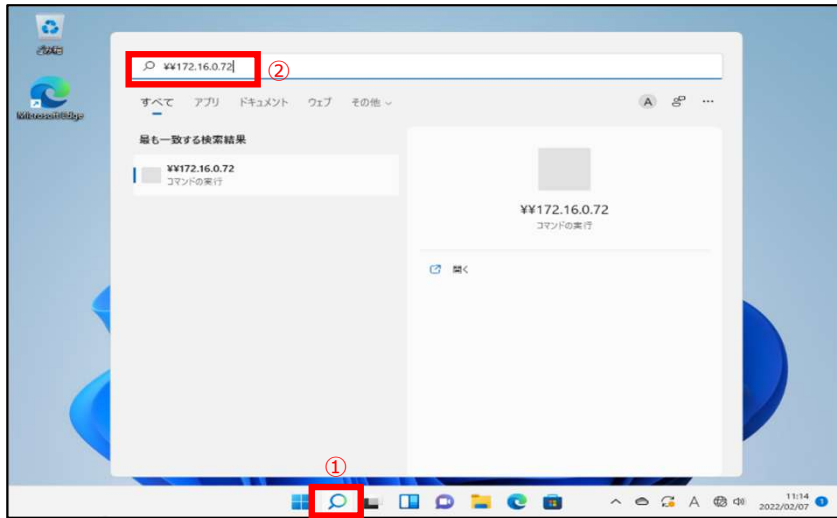
社内LAN接続方式を利用する方の手順です。

リモートデスクトップ接続を利用する場合は本頁の設定はせず、前頁の設定を実施してください。

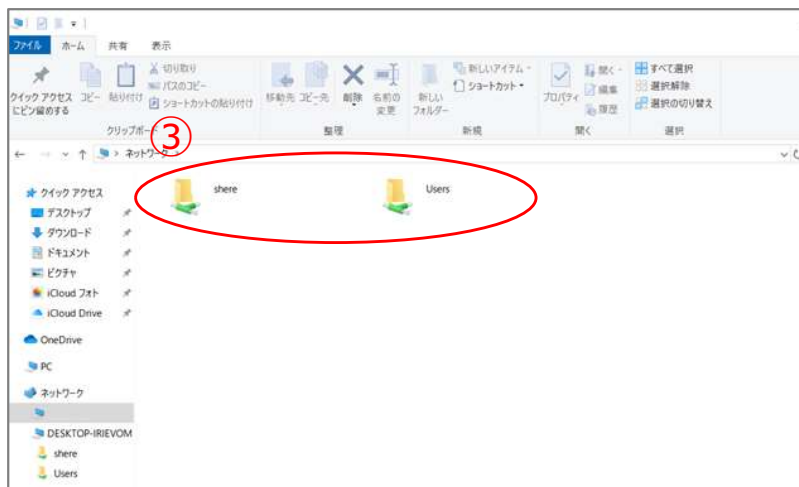
① タスクバーの「」をクリックします


② 表示されたウィンドウの検索欄に、「¥¥接続したいサーバ・端末のIPアドレス」を入力し、Enterキーを押します。

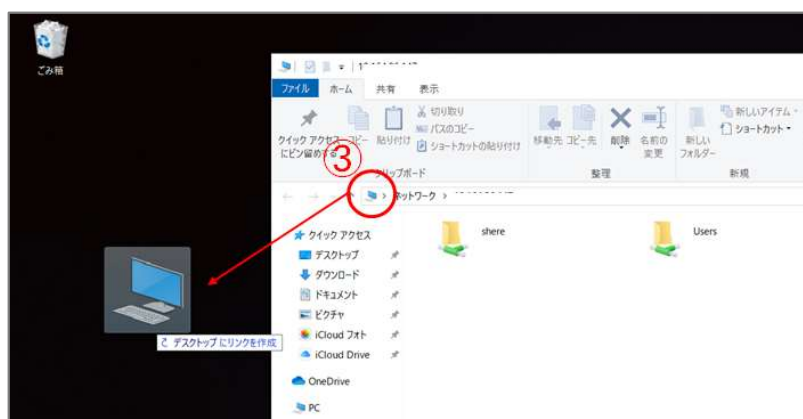
(例) ¥¥172.16.0.72



③ 入力した接続先が表示されますので、閲覧できるか確認します。接続できたら設定は終了です。



【参考】  の部分をデスクトップにドラックするとショートカットが作成でき、次回以降のアクセスが簡単になります。



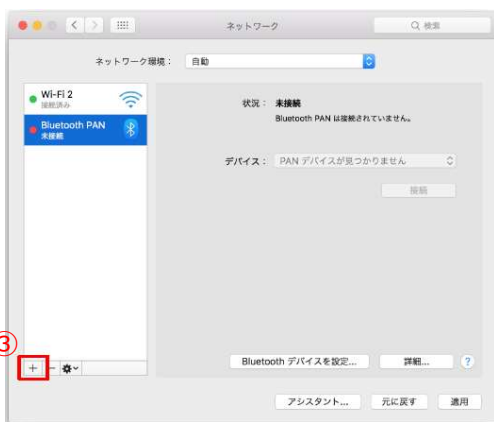
3.外出先に持ち出す端末への設定

(2) MacOS端末版・事前設定 (①VPN設定)

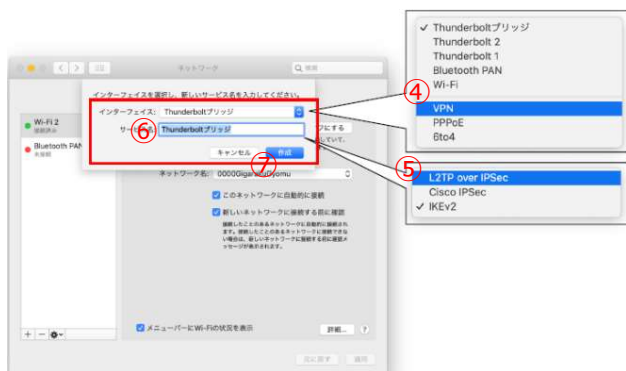
- ① デスクトップ右上の“ネットワークアイコン”をクリックします。
インターネット未接続時は扇マーク、
Wi-Fi接続時はWi-Fiマークになっています。
- ② “ネットワーク環境設定を開く”をクリックします。



- ③ ネットワークの画面左下の“+”をクリックします。



- ④ インターフェイスの項目で“VPN”を選択します。
- ⑤ VPNタイプを“L2TP over IPsec”を選択します。
- ⑥ サービス名を入力します。任意の名前で構いません。
- ⑦ “作成”をクリックします。



上記までが完了すると、作成した項目が追加されますので
クリックします



- ⑧ サーバアドレス欄に「DDNS名」または「接続先IPアドレス」
を入力（参考：P11）
- ⑨ アカウント名欄に、ギガらくルーターType-Yの設定申込書
で申請したアカウントIDとパスワードを入力
- ⑩ “詳細”をクリックしてください
- ⑪ “すべてのトラフィックをVPN接続経由で送信する”に
チェックをいれて有効にします
- ⑫ “OK”をクリックします、
- ⑬ 画面が閉じたら“認証設定”をクリックします。



- ⑭ パスワードの欄に⑨で入力した
アカウントの“パスワード”を入力します。
※毎回パスワード確認する場合空欄でも可
- ⑮ 共有シークレットキーの欄に、ギガらくルーターType-Y設
定申込書にて申請した「シークレットキー」を入力します。
- ⑯ 入力完了したら“OK”をクリックします。



- ⑰ 設定を保存するために“適用”をクリックします。



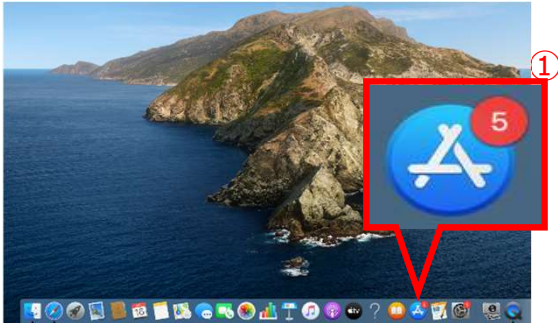
以上で設定は完了です

3.外出先に持ち出す端末への設定

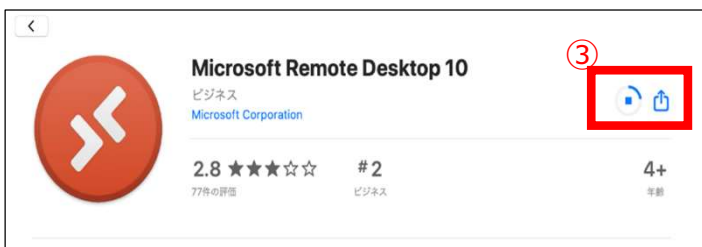
(2) MacOS端末版・事前設定 (②リモートデスクトップ設定)

リモートデスクトップ接続を利用しない場合は、本項目の設定は不要です。

- ① デスクトップ下部・タスクバーの“App Store”をクリックします



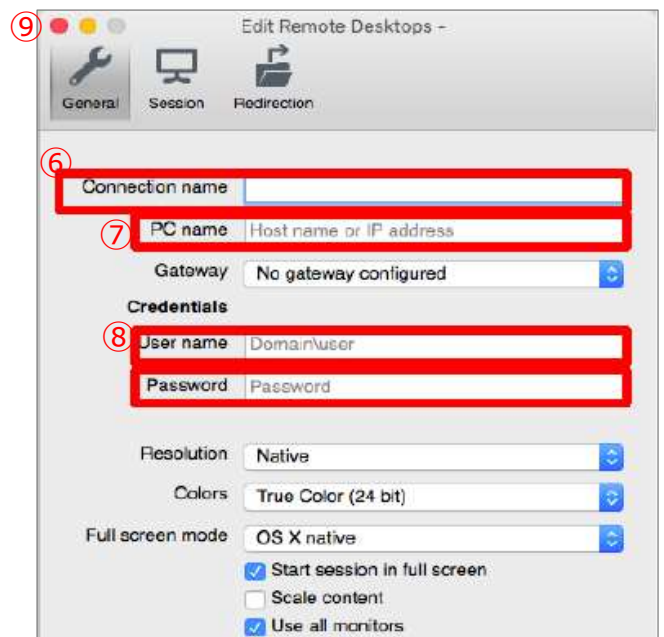
- ② 検索フォームに“Microsoft Remote Desktop”と検索してください
- ③ Microsoft Remote Desktopのアプリ詳細画面が表示されます
画面右の「入手」のボタンをクリックしダウンロードします



- ④ ダウンロードが完了したら、Microsoft Remote Desktopを起動します (上記赤いアイコンです)
- 5. アプリが立ち上がったら“New”をクリックします



- ⑥ 「Connection name」へどのPCに接続するか後で分かるように“任意の名前”を入力してください
- ⑦ 「PC name」に接続する会社側PCの“IPアドレス”を入力します
- ⑧ 「User name」、「Password」に接続する会社側PCの“アカウント名・パスワード”を記入してください
- ⑨ 左上の“×”をクリックしてください



以上で設定は終了です

3.外出先に持ち出す端末への設定

(2) MacOS端末版・接続手順 (①VPN接続)

① デスクトップ右上の“ネットワークアイコン”をクリックします。
インターネット未接続時は扇マーク、
Wi-Fi接続時はWi-Fiマークになっています。

② “ネットワーク環境設定を開く”をクリックします。



③ 作成したVPN接続を選択して“接続”をクリックします。



④ (任意) 設定時にパスワードを空欄で設定した場合
このタイミングでパスワードを入力します。

⑤ “OK”をクリックします。



⑥ 状況が接続中に変わります。しばらくお待ちください。



⑦ 接続に成功すると、状況が“接続済み”に変わります。
接続時間とVPN接続時のIPアドレスが表示されます。



以上で設定は完了です。
接続に失敗する場合は次頁の「VPN接続できないときの主な対処法」を参照し、設定の見直しをお願いします。

3.外出先に持ち出す端末への設定

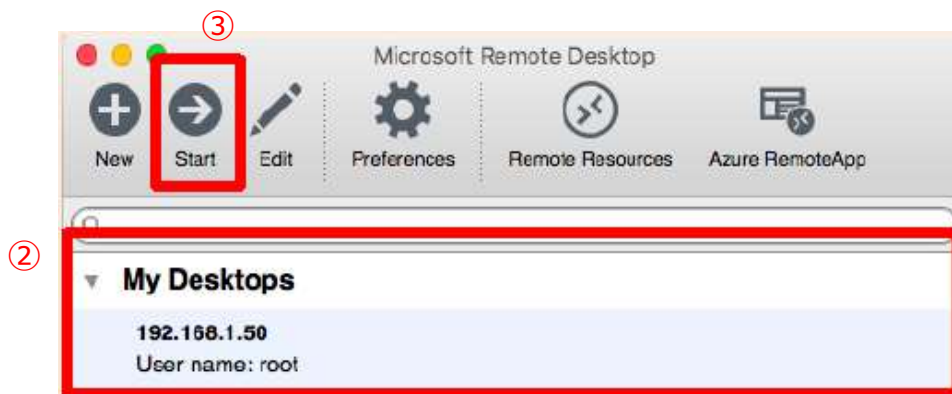
(2) MacOS端末版・接続手順 (②リモートデスクトップ接続)

リモートデスクトップ接続を利用する方の手順です。
社内LAN接続方式を利用する場合は本頁の設定はせず、次頁の設定を実施してください。

- ① Microsoft Remote Desktopを起動します
(デスクトップにない場合は、アプリケーション一覧を確認してください)



- ② 作成した“任意の接続先PC”を選択します
③ “Start”をクリックします



接続先PCの画面が表示されたら、接続成功です

※PCのログイン画面が表示された場合は、会社側PCでいつも使用しているログインID・パスワードを入力してください

※ログインできない場合、ログインに使用するユーザ名が異なっている場合があります。

接続先端末がWindows10の場合P5、Windows11の場合P10の手順も併せてご確認ください



3.外出先に持ち出す端末への設定

(2) MacOS端末版・接続手順 (③社内LAN接続方法)

- ① デスクトップ下部のタスクバーから「Finder」をクリックします
- ② “移動”をクリックします
- ③ 表示されたメニューの中から“サーバへ接続”をクリックしてください



①



- ④ 下記画面で「smb://」を選択します
- ⑤ 接続したいサーバやシステムのIPアドレスを入力してください
- ⑥ 入力完了後、“接続”をクリックしてください
- ⑦ 接続先が閲覧出来たら設定完了です。



3.外出先に持ち出す端末への設定

【参考】VPN接続できないときの主な対処法（MacOS端末版）

エラーメッセージ	考えられる原因	対処法
認証できませんでした。	サーバアドレス（ホスト名）を誤って設定している	p25の設定⑧“サーバアドレス”の項目に誤りが無いか確認してください。
	アカウントID、パスワードを誤って設定している	p25の設定⑨“アカウントID”、設定⑭“パスワード”の項目に誤りが無いか確認してください。
L2TP-VPNサーバが応答しませんでした。接続し直してください。 それでも問題が解決しない場合は、設定を確認し、管理者に問い合わせてください。	共有シークレットキーを誤って設定している	p25ページの設定⑮“共有シークレットキー”の項目に誤りが無いか確認してください。
	同じ回線やネットワークでの折り返し通信になっているためエラーが発生している。	会社内で設定している場合に発生します。ギガらくルーターType-Y装置を接続している回線とは別の回線から接続を試してみてください。 (モバイル回線などのテザリングなど、全く別の回線でお試ください)

3.外出先に持ち出す端末への設定

(3) iOS端末編・VPN設定手順

- ① ホーム画面で“設定”アイコンをタップします
- ② 画面左の一覧内にある“一般”をタップします



- ③ 項目の中から“VPN”をタップします



- ④ “VPN構成を追加...”をタップします

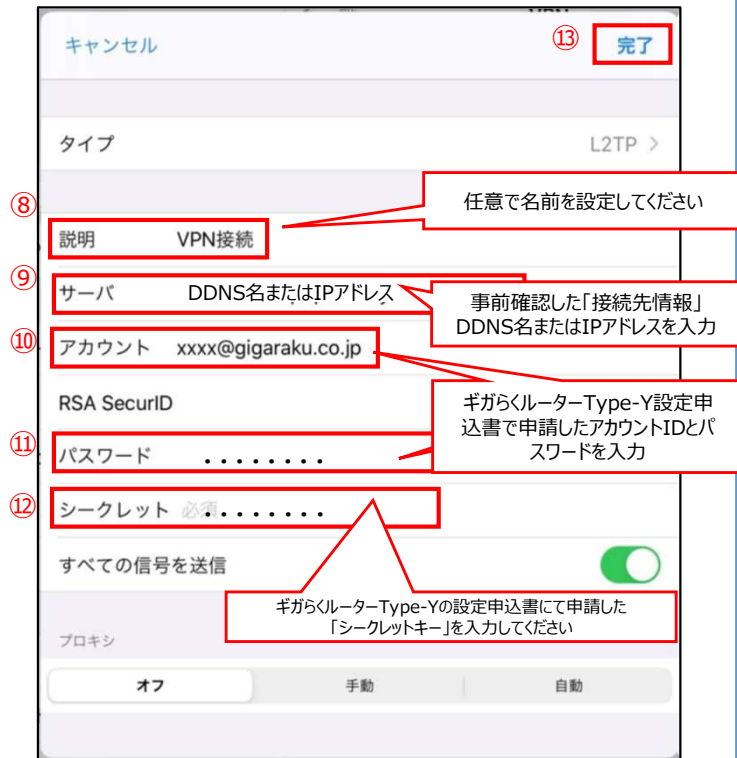


- ⑤ “タイプ”の項目をタップします
- ⑥ 表示された画面内で“L2TP”を選択します
- ⑦ “戻る”をタップします



- ⑧～⑫ VPN設定画面に戻りますので、下記の通り入力してください

- ⑬ 入力が完了したら、“完了”をタップします



- ⑭ VPN接続の設定が追加されていれば設定完了です



3.外出先に持ち出す端末への設定

(3) iOS端末編・VPN接続手順

- ① ホーム画面から“設定”を開きます
- ② メニュー左の“一般”をタップします



- ③ 項目の中から“VPN”をタップします



- ④ 事前準備編 2 で作成した“VPN接続先”をタップします



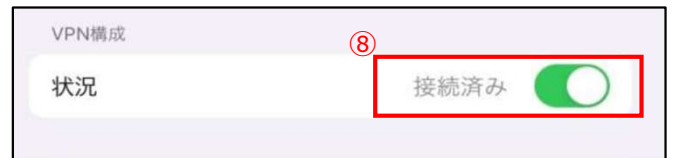
- ⑤ 接続したいVPNにチェックが付いたことを確認します
- ⑥ “未接続”の右のスイッチをタップします



- ⑦ 事前準備編 2 でパスワード欄を空欄にした場合には、パスワードが求められますので入力し、OKをタップします。
※入力済みの場合は表示されないため、次へ進みます



- ⑧ “接続済み”と表示されれば、VPN接続は成功です



⚠ 接続がうまくいかない場合は・・・

エラーの一例になります。
下記を参考に各項目を再度ご確認ください

■ VPN接続用のユーザー名またはパスワードが間違っている場合



■ 事前共有キーが間違っている場合



以上で設定は終了です。

3.外出先に持ち出す端末への設定

(4) Andorid端末編・VPN設定手順 (L2TP/IPSec)

① ホーム画面から**“設定”**を開きます

⚠ 設定のアイコンは機種によって場所が異なりますので、ご注意ください

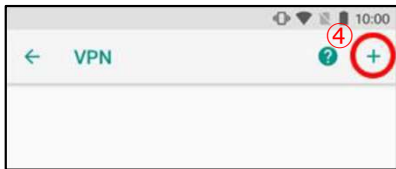


② **“ネットワークとインターネット”**をタップします

③ **“VPN”**をタップします



④ 画面右上の**“+”**をタップします



⑤ 「名前」欄をタップし任意のVPNの名前を入力します



⑥ 「タイプ」欄をタップし**“L2TP/IPSec PSK”**を選択します



※Android12以降はL2TP/IPSecの設定ができないためご利用いただけません。

⑦ 「サーバーアドレス」欄をタップし、事前確認した接続先情報の**“DDNS名”**または**“IPアドレス”**を入力



⑧ 「IPSec事前共有鍵」欄にギガらくルーターType-Y設定申込書にて申請した**“シークレットキー”**を入力します

⑨ **“保存”**をタップします



⑩ 作成したVPNプロファイルが追加されていれば、設定完了です



3.外出先に持ち出す端末への設定

(4) Andorid端末編・VPN接続手順 (L2TP/IPSec)

① ホーム画面から“設定”を開きます

⚠ 設定のアイコンは機種によって場所が異なりますので、ご注意ください



② “ネットワークとインターネット”をタップします

③ “VPN”をタップします



④ 事前準備編 2 で作成したVPN接続先をタップします



⑤ ギガらくルーターType-Yの設定申込書で申請したアカウントとパスワードを入力します

- ※ 本画面が表示されない場合は、次の項目に進んでください
- ※ “アカウント情報を保存する”にチェックを入れると次回以降は本項目を入力不要で接続できます

⑥ “接続”をタップします



⑦ “接続されました”と表示されれば、接続成功です

※接続に失敗する場合は、シークレットキーやアカウント・パスワード等が正しく入力されているか確認してください



3.外出先に持ち出す端末への設定

(5) Andorid端末編・VPN設定手順 (IKEv2/IPSec)

① ホーム画面から**“設定”**を開きます

⚠ 設定のアイコンは機種によって場所が異なりますので、ご注意ください

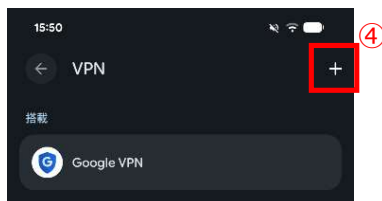


② **“ネットワークとインターネット”**をタップします

③ **“VPN”**をタップします



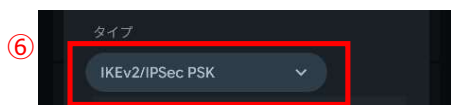
④ 画面右上の**“+”**をタップします



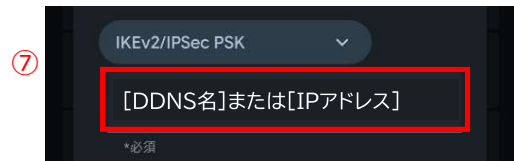
⑤ 「名前」欄をタップし任意のVPNの名前を入力します



⑥ 「タイプ」欄をタップし**“IKEv2/IPSec PSK”**を選択します



⑦ 「サーバーアドレス」欄をタップし、事前確認した接続先情報の**“DDNS名”**または**“IPアドレス”**を入力します。



⑧ **“IPSec ID”**欄にギガらくルーターType-Yの設定申込書で申請した**“アカウント”**、**“IPSec事前共有キー”**欄に**“パスワード”**を入力します。

⑨ **“保存”**をタップします。



⑩ 作成したVPNプロファイルが追加されていれば、設定完了です

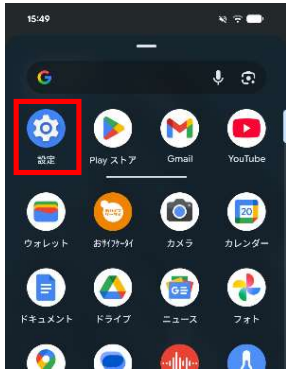


3.外出先に持ち出す端末への設定

(5) Andorid端末編・VPN接続手順 (IKEv2/IPSec)

① ホーム画面から**“設定”**を開きます

⚠ 設定のアイコンは機種によって場所が異なりますので、ご注意ください



② **“ネットワークとインターネット”**をタップします

③ **“VPN”**をタップします



④ VPN設定手順で作成したVPN接続先をタップします



⑤ ポップアップ画面が表示されますので、**“接続”**をタップします




⑥ **“接続されました”**と表示されれば、接続成功です。
※接続に失敗する場合は、
シークレットキーやアカウント・パスワード等が
正しく入力されているか確認してください

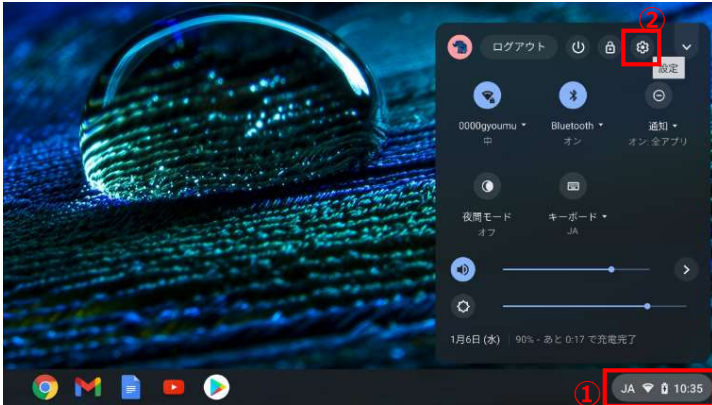


VPN接続できたかどうかは
VPN接続名をタップすることでも確認できます。

3.外出先に持ち出す端末への設定

(6) ChromeOS端末編・VPN設定手順

- ① 画面右下の赤枠箇所をクリックし、クイックコントロールを開きます。
- ② 「」をクリックします



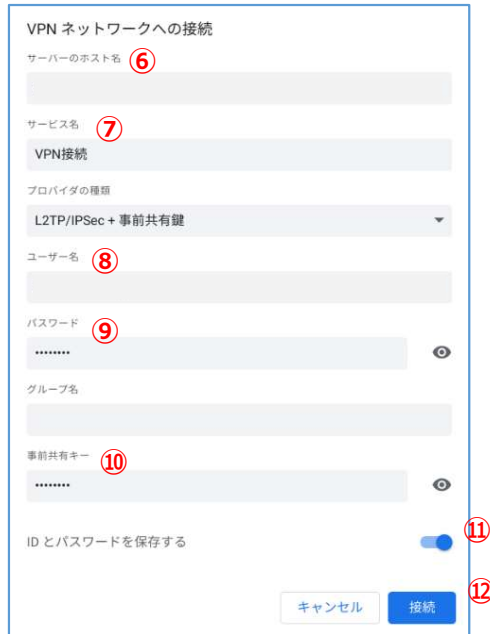
- ③ ネットワークをクリックし、“接続を追加”をクリックします。
- ④ 表示された項目内の“OpenVPN / L2TPを追加”をクリックします。



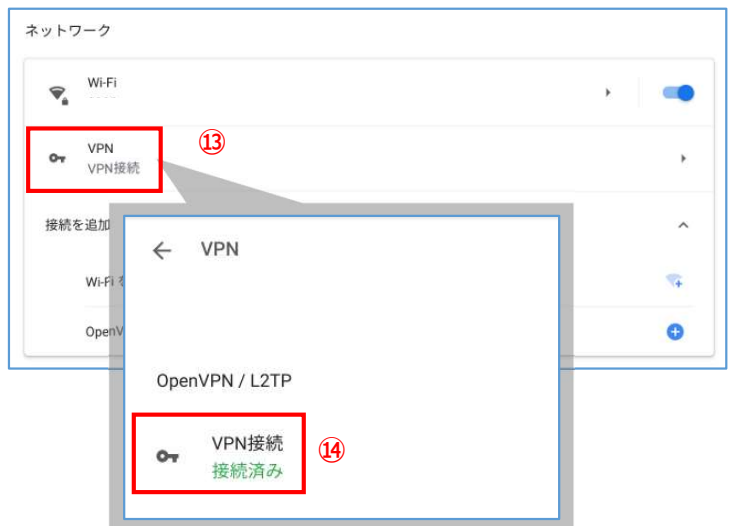
- ⑤ ウィンドウが開きますので、プロバイダの種類欄を“L2TP/IPSec+事前共有鍵”に設定します。



- ⑥ 「DDNS名」または「接続先IPアドレス」を入力
- ⑦ 任意の名前を入力します
- ⑧ ギガらくルーターType-Yの設定申込書で申請したアカウントIDを入力
- ⑨ ギガらくルーターType-Yの設定申込書で申請したパスワードを入力
- ⑩ ギガらくルーターType-Yの設定申込書で申請したシークレットキーを入力
- ⑪ <任意> 本項目にチェックを入れると、次回VPN接続時のアカウントID・パスワードの入力を省略できます
- ⑫ 接続をクリックして設定内容を保存、接続を開始します




- ⑬ 設定完了後、“VPN”をクリックします
- ⑭ VPN接続が正常に完了した場合、“接続済み”と表示されます。



以上で設定は終了です。

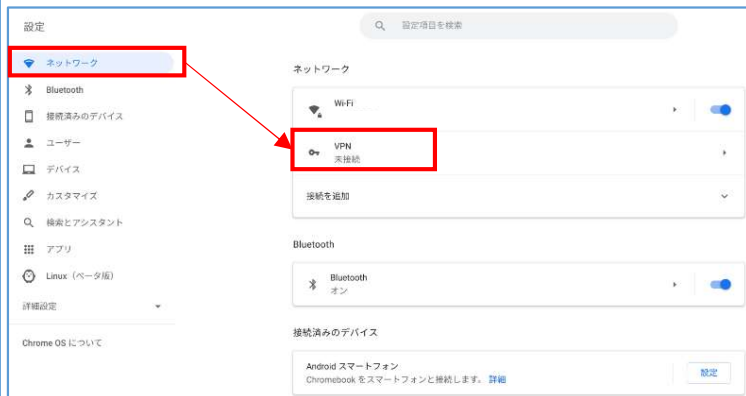
3.外出先に持ち出す端末への設定

(6) ChromeOS端末編・VPN接続手順

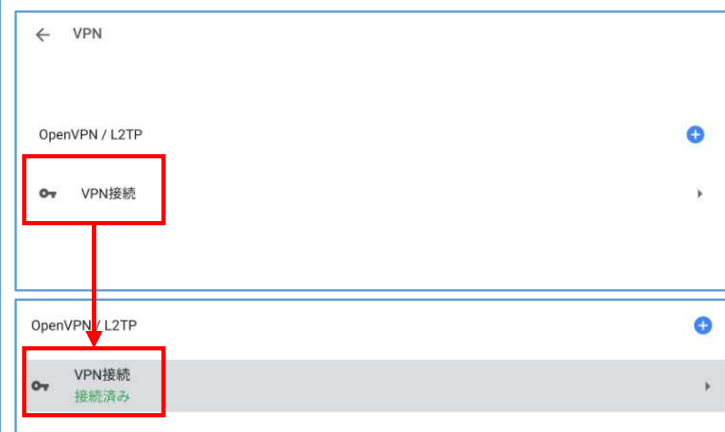
- ① 画面右下をクリックするとクイックコントロールが開きます。
- ② 「」をクリックします。




- ③ ネットワークをクリックし、「VPN」をクリックします。



- ④ VPN接続先一覧が表示されますので、作成した接続先名をクリックすると接続を開始します。
“**接続中**”が“**接続済み**”に変われば完了です。



【参考】クイックコントロールから簡易に接続する方法

- ① 画面右下をクリックするとクイックコントロールが開きます。
- ② 「」をクリックします。
※クイックコントロールの表示設定により、上記マークが表示されない場合があります



- ③ 作成した接続先名をクリックします。



- ④ VPN接続が開始されます。
“**接続中**”が“**接続済み**”に変われば完了です。



3.外出先に持ち出す端末への設定

(7) iOS/Andorid/ChromeOS端末編・リモートデスクトップアプリの設定

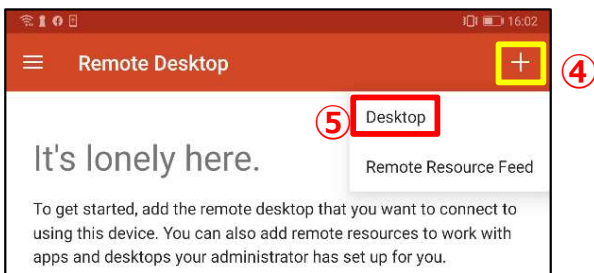
1 リモートデスクトップアプリのダウンロード

- ① iOS端末の場合はApp Storeを、Android OS、ChromeOS の場合はPlayストアを開きます
- ② 『Microsoft Remote Desktop』を検索して、ダウンロードします
※Android、ChromeOSの場合2つ表示されますが『Remote Desktop 8』は古いバージョンです。

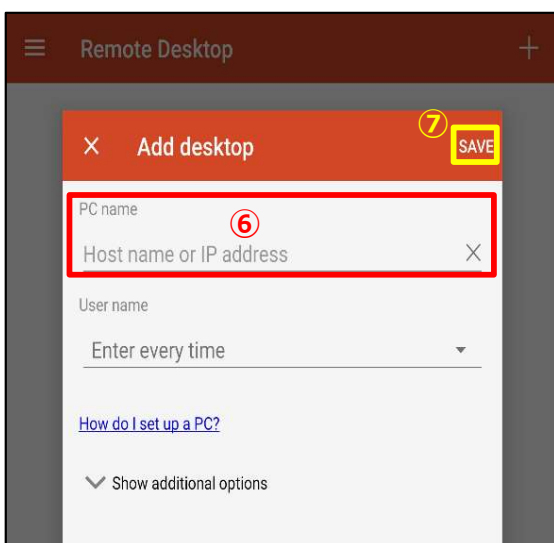


2 アプリの設定

- ③ ダウンロードが完了したら、ホーム画面にて『 Microsoft Remote Desktop (リモートデスクトップ) 』アプリのアイコンをタップします。
- ④ 右上の“+”を押下します
- ⑤ “Desktop” (もしくは“PCまたはサーバーの追加”と表示されています) をタップします。



- ⑥ “PC name” (もしくは“PC名”と表示されています) の項目に接続する会社側PCのIPアドレスを入力。
- ⑦ “SAVE”をタップします。



以上で設定は終了です。

3.外出先に持ち出す端末への設定

(7) iOS/Andorid/ChromeOS端末編・リモートデスクトップアプリの接続

- ① ホーム画面にて、『Microsoft Remote Desktop (リモートデスクトップ)』アプリのアイコンをタップします。
- ② 事前準備編 2 - (2) 設定しリモートデスクトップ接続先をタップします

① アプリのアイコンをタップ



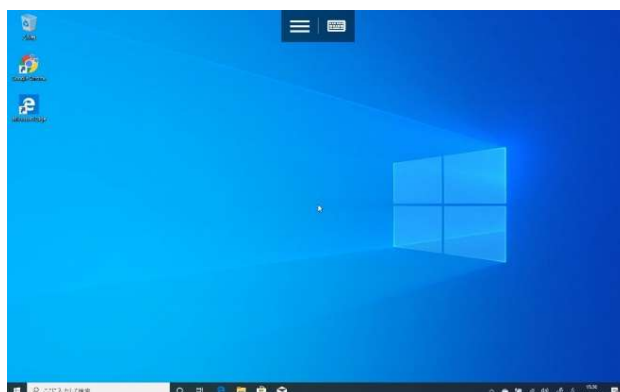
②



- ⑨ 接続の際にユーザー名とパスワードが求められます (接続先PCのログインIDとパスワード)
- ⑩ "CONNECT"をタップしてください

The image shows the 'Logon' screen of the Microsoft Remote Desktop application. It has a white background with the title 'Logon' at the top. Below the title, it says 'PC name' and 'IPアドレスが表示されます'. There are two input fields: 'User name' and 'Password'. The 'User name' field contains the text 'User@domain or domain\user'. Below the input fields is a checkbox labeled 'Store user name and password'. At the bottom right, there are two buttons: 'CANCEL' and 'CONNECT'. A red box highlights the 'User name' field with a circled '9', and another red box highlights the 'CONNECT' button with a circled '10'.

- ⑪ 接続に成功すると、デスクトップが表示されます



以上で設定は終了です。

※ログインできない場合、ログインに使用するユーザー名が 異なっている場合があります。

接続先端末がWindows10の場合P5、Windows11の場合P10の手順も併せてご確認ください